令和8年度

河川維持修繕事業

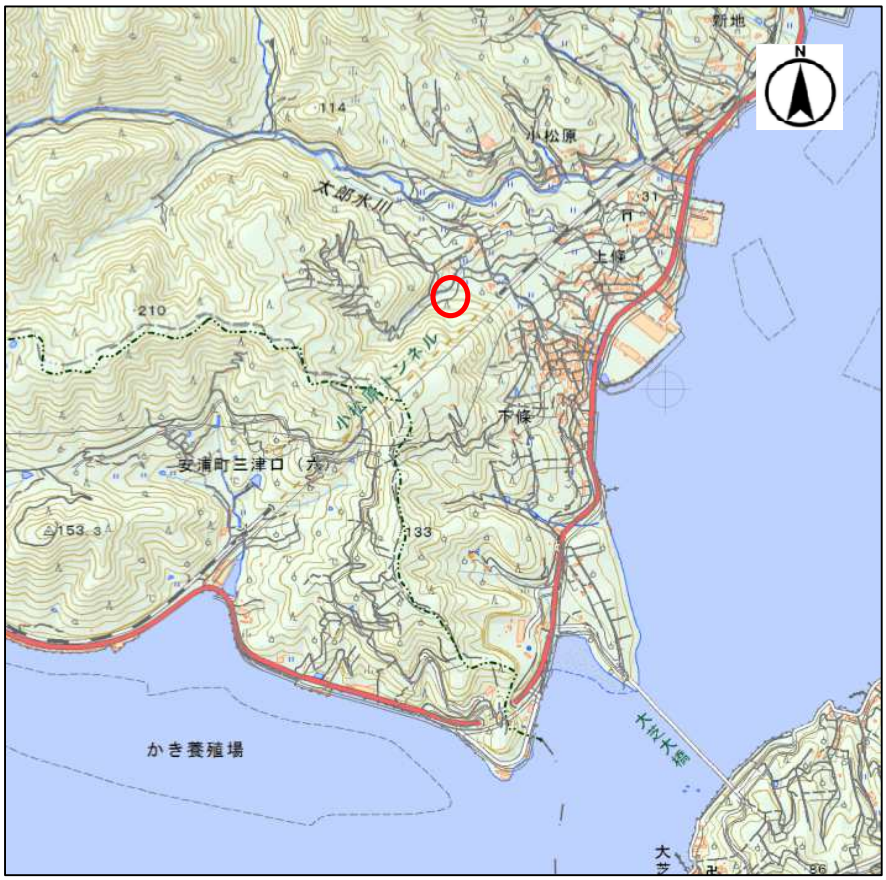
掛中排水路修繕工事その2

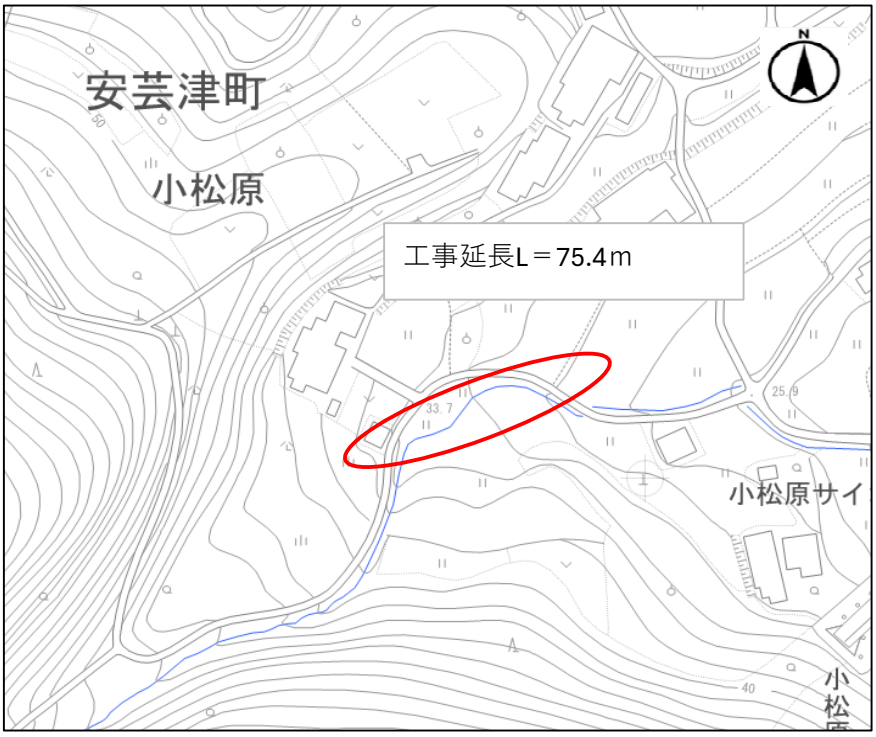
仕様書

施　工　場　所　　東広島市安芸津町小松原

東広島市

位　　置　　図


新地
N
114
小松原
31
上條
210
下條
安浦町三津口（六）
153.3
133
かき養殖場
大芝


安芸津町
小松原
N
工事延長L＝75.4ｍ
33.7
25.9
小松原サイ
40
小松原

特　記　仕　様　書

（令和8年度　河川維持修繕事業 掛中排水路修繕工事その2）

第1章　総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休２日適用工事等　週休２日
12. 建設副産物の取り扱いについて

第2章　工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章　施工条件

1. 用地
   (1) 現場の復旧
2. 安全対策
   (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 盛土・埋戻土
4. 建設副産物
   (1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
   (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

第4章　その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき

⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき

⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき

⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき

⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき

⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。
なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島県版」第1編1-1-1-24第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。

（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。

１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定

（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

3）「4.検査」は適用しない。

4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

（1） 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（2） 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（3） 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数 （WBGT）を対象とする。

（4） 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

（5） 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

（6） 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

（7） 積算方法は次のとおりとする。

1）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

（8） 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

（9） 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休２日適用工事等 週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

12.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3.　溶融スラグを利用した資材の使用

1.　溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議すること。

2.　品質管理及び確認

1.で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和８年８月)」及び広島版「施工管理基準(令和８年８月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3.　再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和８年８月）」の「1-1-2-16　環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものと

する。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和８年８月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 用地

(1) 現場の復旧

工事に際して、私有地を利用しようとする場合は、土地管理者と事前調整及び返却時の承諾を得ること。

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 78m3(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

掛中排水路

(名称) 株式会社中岡建設リサイクルプラント

(所在地) 東広島市安芸津町木谷1218-7

(運搬距離) 7.5ｋｍ

(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 6.8ｋｍ を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「(様式１) 調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「(様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 （設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量）

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
河川維持		式		1	レベル1
河川土工		式		1	レベル2
河川土工		式		1	レベル3
掘削	土砂 上記以外(小規模) 標準	m3		30	レベル4
盛土工	施工幅員2.5m未満	m3		20	レベル4
盛土工（畦畔部）	施工幅員2.5m未満	m3		4	レベル4
法面整形(盛土部)	盛土部 法面締固め有り 現場制約有り	m2		10	レベル4
人工張芝	張芝 幅100cm ワラ付	m2		10	レベル4
法面整形(切土部)	切土部 現場制約有り	m2		50	レベル4
人工張芝	張芝 幅100cm ワラ付	m2		50	レベル4
法面整形（畦畔部）	盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 畦畔部	m2		10	レベル4
人工張芝	張芝 幅100cm ワラ付	m2		10	レベル4
作業土工		式		1	レベル3
床堀	土砂 上記以外(小規模)	式		1	レベル4
埋戻し	土砂 上記以外(小規模)	式		1	レベル4
埋戻しコンクリート		m3		7	レベル4
土砂等運搬		m3		40	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
残土等処分		m3		40	レベル4
水路工		式		1	レベル3
大型フリューム	1000×700　1000	m		3	レベル4
大型フリューム	1000×700　2000	m		6	レベル4
大型フリューム落差工	落差工　1000×700　750	m		2	レベル4
大型フリューム	800×900　1000	m		10	レベル4
大型フリューム	800×900　2000	m		20	レベル4
大型フリューム落差工	落差工　800×900　750	m		19	レベル4
現場打水路	B1000～B800 H700～H900　L＝1.5m	箇所		1	レベル4
現場打水路	B800-H900	m		9	レベル4
底張りコンクリート	H＝20cm	式		1	レベル4
すり付け水路		箇所		1	レベル4
間詰コンクリート	18-8-40	式		1	レベル4
床版工	1300×1000×100	箇所		2	レベル4
硬質塩化ビニ管	VUφ100	m		0.3	レベル4
舗装工		式		1	レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚120㎜ 1層施工 RM-30	m2		2	レベル4
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚40㎜	m2		2	レベル4

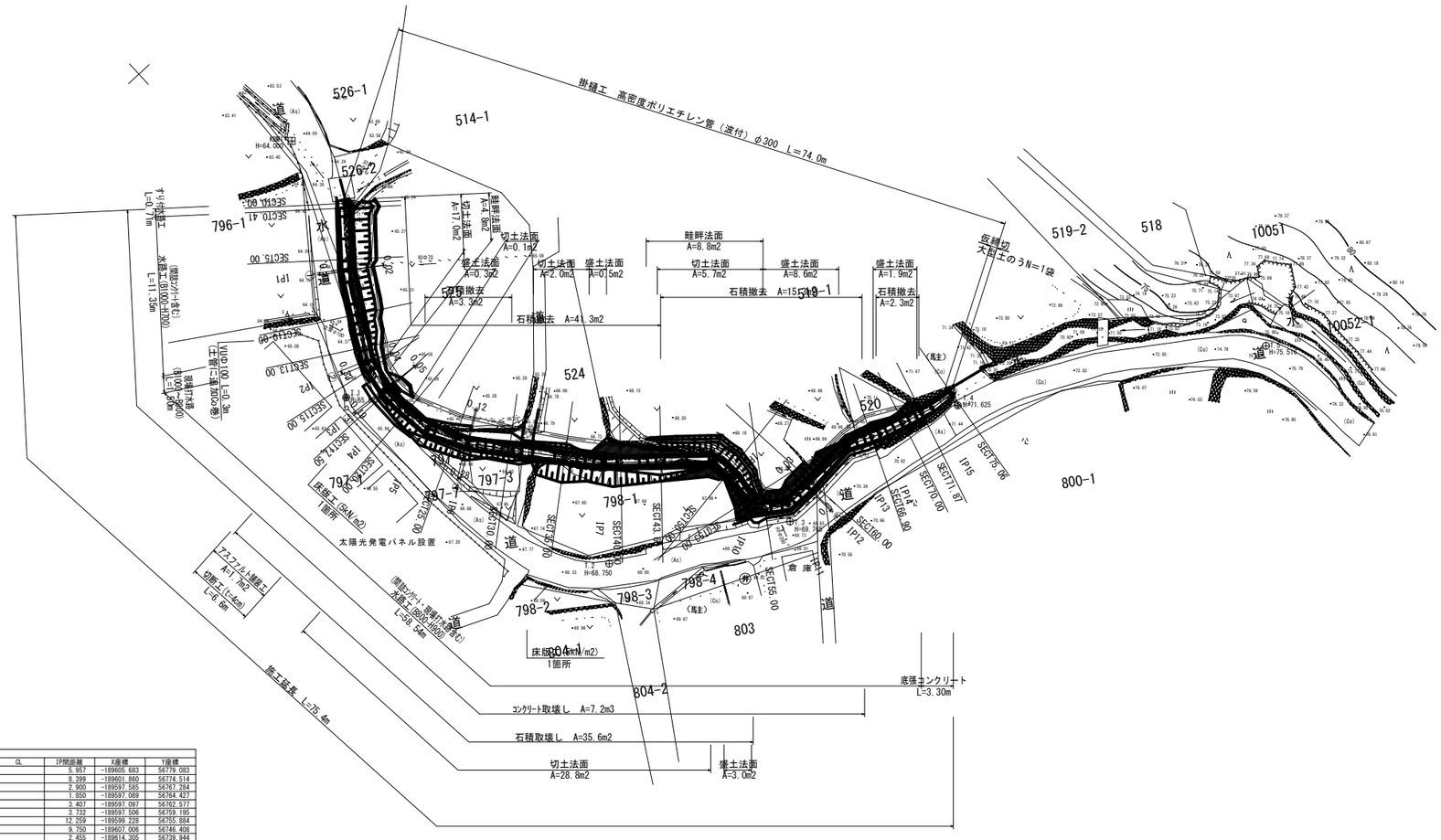
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m		7	レベル4
コンクリート構造物取壊し	人力施工(コンクリートブレーカ)	m3		7	レベル4
コンクリート殻運搬		m3		7	レベル4
CO殻処分		t		17	レベル4
掘削	石積取壊し 標準	m3		30	レベル4
土砂等運搬		m3		30	レベル4
残土等処分		m3		30	レベル4
仮締切		式		1	レベル4
土砂等運搬		m3		0.8	レベル4
残土等処分		m3		0.8	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					

工事数量総括表

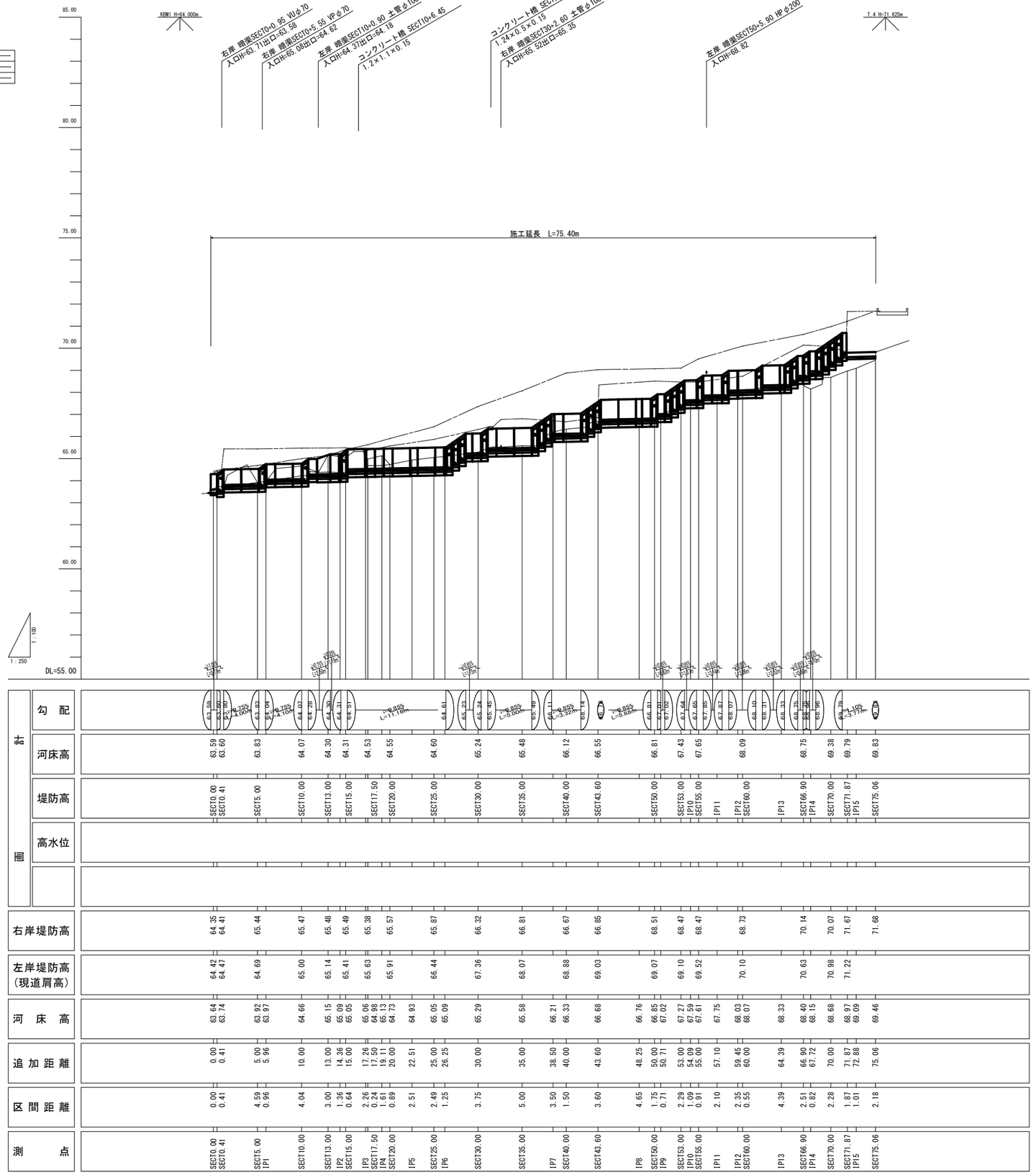
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

S=1：250


526-1
514-1
526-2
掛樋工　高密度ポリエチレン管（波付）φ300　L=74.0m
796-1
水路
L=71.2m
L=0.7m
L=11.35m
擁壁工（U100.00 L=1.9m）
擁壁工（U100.00 L=1.9m）
擁壁工（U100.00 L=1.9m）

凡　例

河　床	———
右　岸	———
左　岸	———

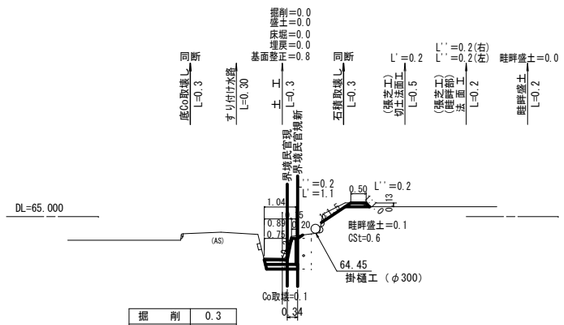

KSW1 H=64.000m
右岸 暗渠SECT0+0.95 VU φ70
入口H=63.71出口=63.58
右岸 暗渠SECT0+5.55 VP φ70
入口H=65.08出口=64.62
左岸 暗渠SECT10+0.90 土管 φ100
入口H=64.37出口=64.18
コンクリート桝 SECT10+6.45
1.2×1.1×0.15
コンクリート桝 SECT30+1.45
1.24×0.5×0.15
右岸 暗渠SECT30+2.60 土管 φ100
入口H=65.52出口=65.35
左岸 暗渠SECT50+5.90 HP φ200
入口H=68.82
T.4 H=71.625m
施工延長　L=75.40m
85.00
80.00
75.00
70.00
65.00
60.00
DL=55.00
1：100
1：250

| | | |

D=0.00

SECT0.00

GH=63.64
FH=63.59

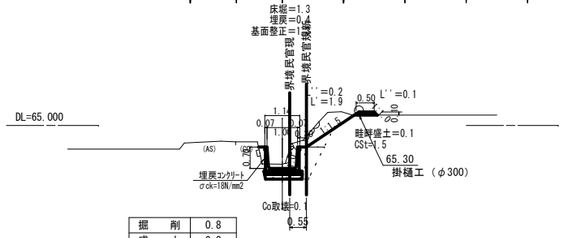


掘　削	0.3
盛　土	0.1
床　掘	1.0
埋　戻	0.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.0

D=0.41

SECT0.41

GH=63.74
FH=63.60

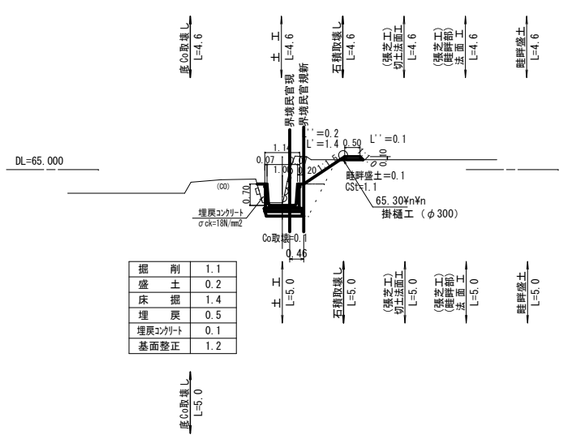


掘　削	0.8
盛　土	0.2
床　掘	1.4
埋　戻	0.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.1
基面整正	1.2

D=4.59

SECT5.00

GH=63.92
FH=63.83

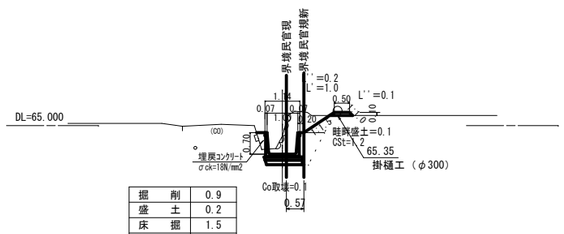


掘　削	1.1
盛　土	0.2
床　掘	1.4
埋　戻	0.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.1
基面整正	1.2

D=5.00

SECT10.00

GH=64.66
FH=64.07

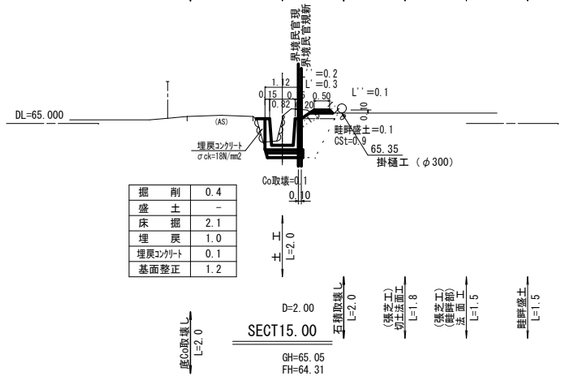


掘　削	0.9
盛　土	0.2
床　掘	1.5
埋　戻	0.6
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.1
基面整正	1.2

D=3.00

SECT13.00

GH=65.15
FH=64.30

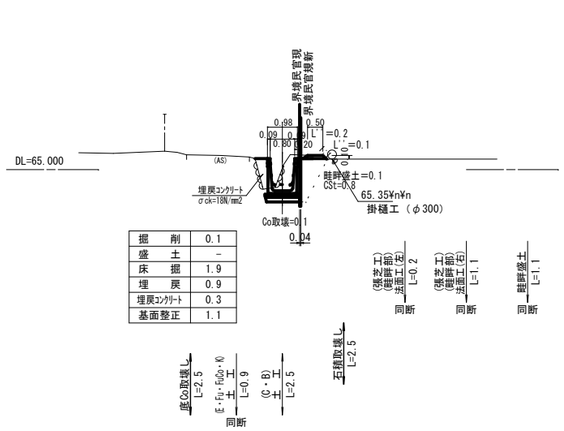


掘　削	0.4
盛　土	－
床　掘	2.1
埋　戻	1.0
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.1
基面整正	1.2

D=2.00

SECT15.00

GH=65.05
FH=64.31

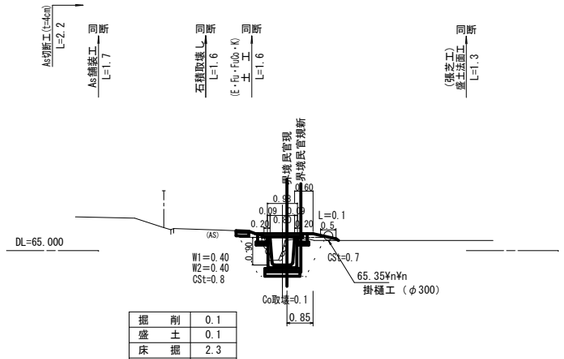


掘　削	0.1
盛　土	－
床　掘	1.9
埋　戻	0.9
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.3
基面整正	1.1

D=2.50

SECT17.50

GH=64.98
FH=64.53

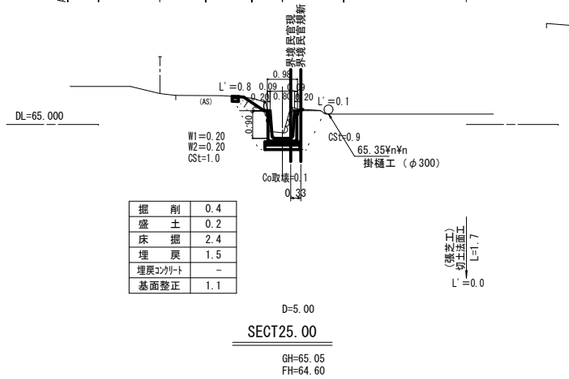


掘　削	0.1
盛　土	0.1
床　掘	2.3
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

D=2.50

SECT20.00

GH=64.73
FH=64.55

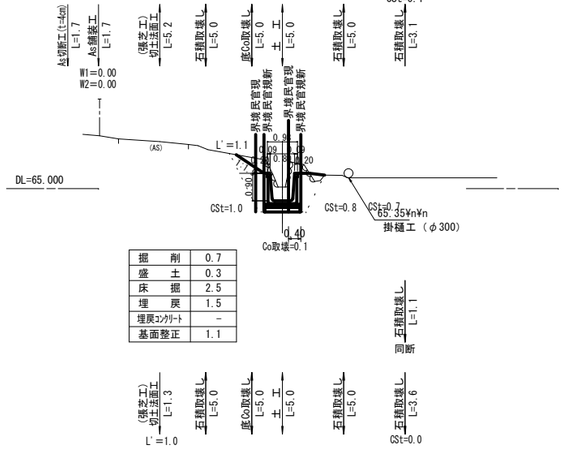


掘　削	0.4
盛　土	0.2
床　掘	2.4
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

D=5.00

SECT25.00

GH=65.05
FH=64.60

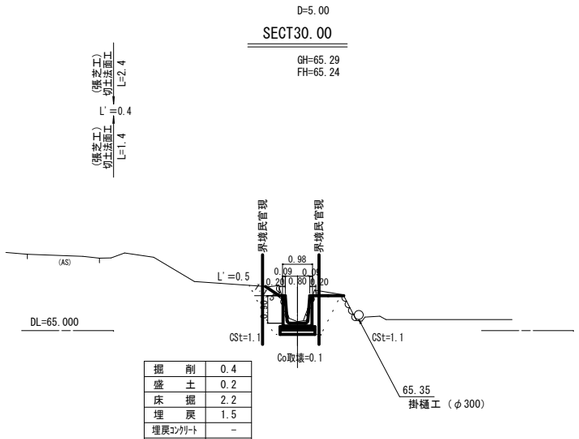


掘　削	0.7
盛　土	0.3
床　掘	2.5
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

D=5.00

SECT30.00

GH=65.29
FH=65.24

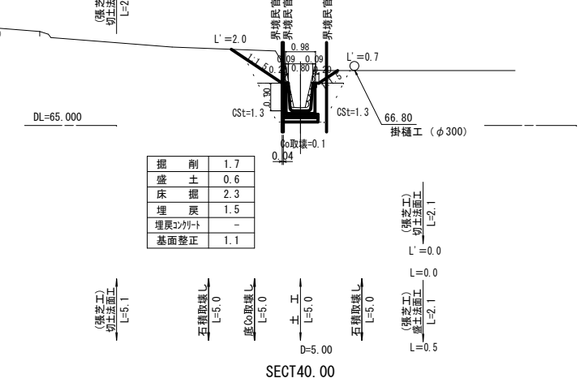


掘　削	0.4
盛　土	0.2
床　掘	2.2
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

D=5.00

SECT35.00

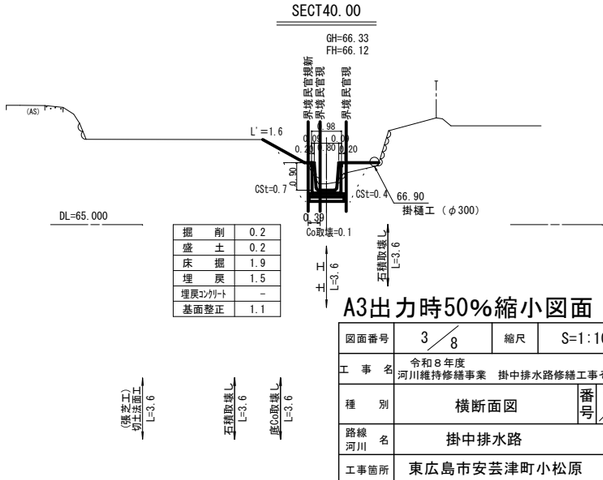
GH=65.58
FH=65.48



掘　削	1.7
盛　土	0.6
床　掘	2.3
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

SECT40.00

GH=66.33
FH=66.12



掘　削	0.2
盛　土	0.2
床　掘	1.9
埋　戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

※掛樋工（φ300）は参考

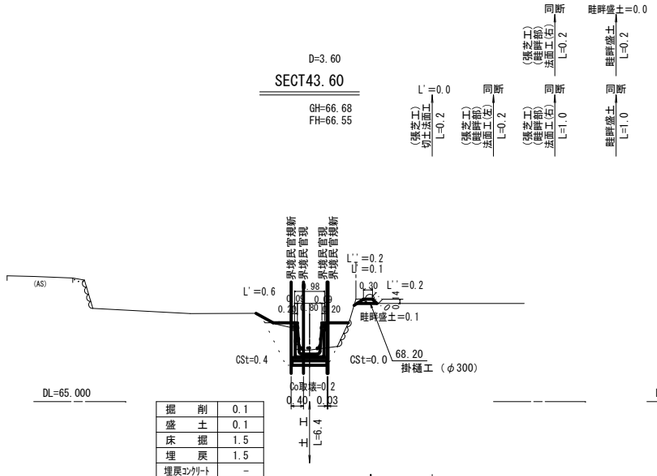
A3出力時50%縮小図面

図面番号	3／8	縮尺	S=1:100
工事名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種別	横断面図	番号	1／2
路線 河川名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		
東広島市			

SECT43.60

D=3.60

GH=66.68
FH=66.55

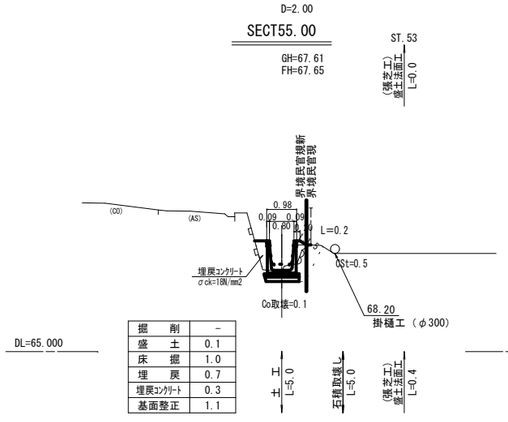


掘削	0.1
盛土	0.1
床掘	1.5
埋戻	1.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

SECT55.00

D=2.00

GH=67.61
FH=67.65

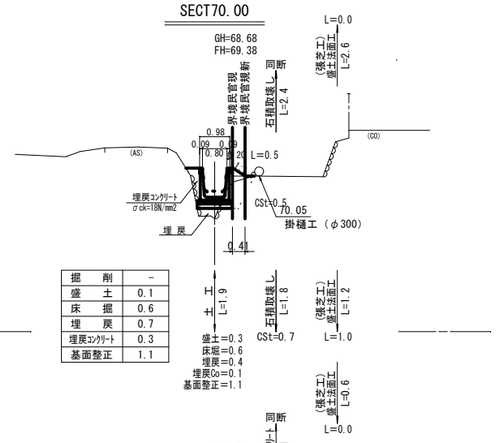


掘削	－
盛土	0.1
床掘	1.0
埋戻	0.7
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.3
基面整正	1.1

SECT70.00

D=3.10

GH=68.68
FH=69.38

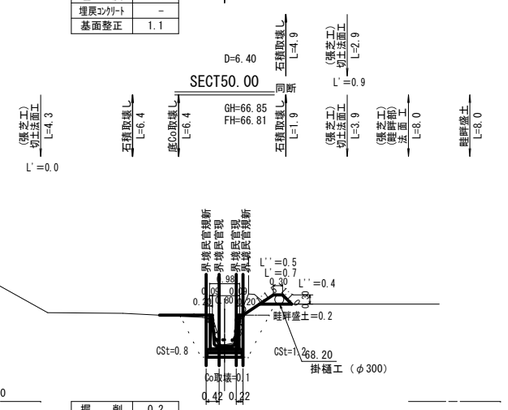


掘削	－
盛土	0.1
床掘	0.6
埋戻	0.7
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.3
基面整正	1.1

SECT50.00

D=6.40

GH=66.85
FH=66.81

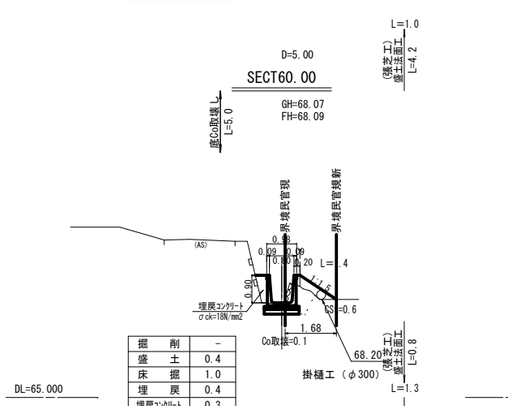


掘削	0.2
盛土	0.2
床掘	2.3
埋戻	1.7
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

SECT60.00

D=5.00

GH=68.07
FH=68.09

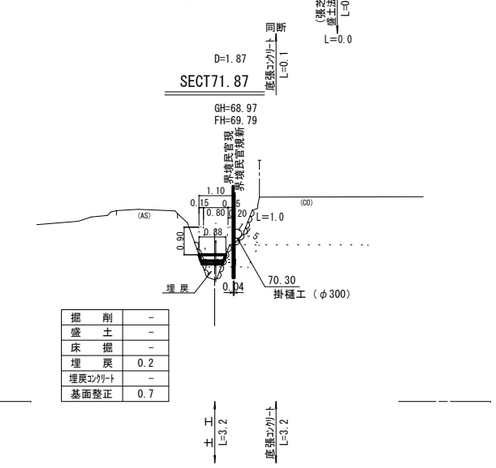


掘削	－
盛土	0.4
床掘	1.0
埋戻	0.4
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.3
基面整正	1.1

SECT71.87

D=1.87

GH=68.97
FH=69.79

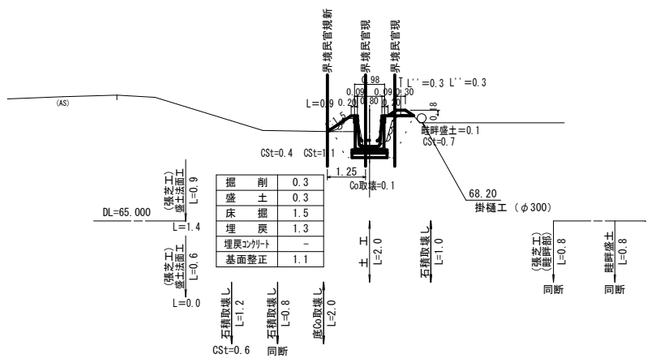


掘削	－
盛土	－
床掘	－
埋戻	0.2
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	0.7

SECT53.00

D=3.00

GH=67.27
FH=67.43

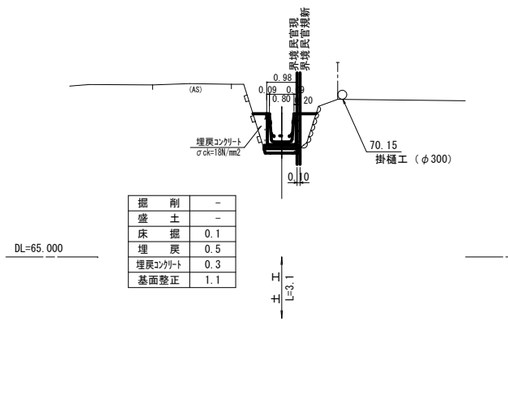


掘削	0.3
盛土	0.3
床掘	1.5
埋戻	1.3
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	1.1

SECT66.90

D=6.90

GH=68.40
FH=68.55

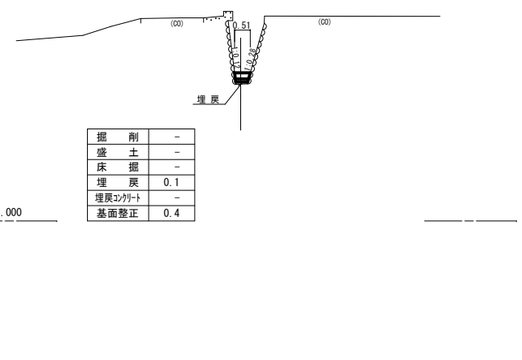


掘削	－
盛土	－
床掘	0.1
埋戻	0.5
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.3
基面整正	1.1

SECT75.06

D=3.19

GH=69.46
FH=69.83



掘削	－
盛土	－
床掘	－
埋戻	0.1
埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ	－
基面整正	0.4

※掛樋工（φ300）は参考

A3出力時50%縮小図面

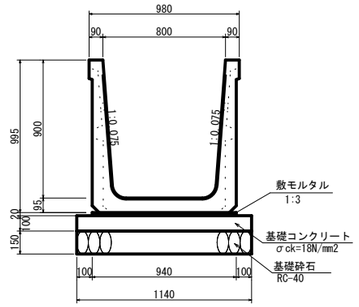
図面番号	4／8	縮尺	S=1:100
工事名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種別	横断面図	番号	2／2
路線河川名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		

東広島市

大型フリューム-B800-H900

S = 1:20

L=2.0m 970kg
L=1.0m 485kg



数量表　　10m当り

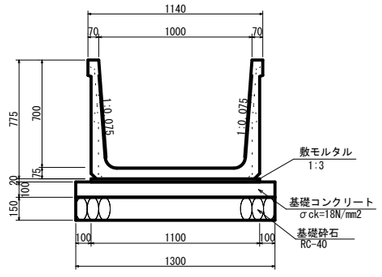
種別	規格	単位	数量	
大型フリューム	B800-H900(L=2.0m)	個	5.0	(L=1.0m-10個)
敷モルタル	1:3	m^3	0.188	
基礎コンクリート	σck=18N/mm^2	m^2	1.140	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m^2	2.000	
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m^2	11.400	

※製品間に隙間が生じた場合は、間詰部詳細図を
参考に巻立てする事とする。

大型フリューム-B1000-H700

S = 1:20

L=2.0m 672kg
L=1.0m 336kg



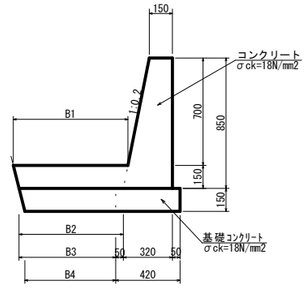
数量表　　10m当り

種別	規格	単位	数量	
大型フリューム	B1000-H700(L=2.0m)	個	5.0	(L=1.0m-10個)
敷モルタル	1:3	m^3	0.220	
基礎コンクリート	σck=18N/mm^2	m^3	1.300	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m^2	2.000	
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m^2	13.000	

※製品間に隙間が生じた場合は、間詰部詳細図を
参考に巻立てする事とする。

すり付け水路工

S = 1:20

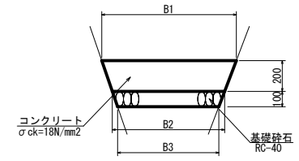


数量表　　（1m当り）

測点	B1 (m)	B2 (m)	B3 (m)	B4 (m)	コンクリート σck=18N/mm2 (m3)	型枠 (m2)	基礎コンクリート σck=18N/mm2 (m3)	基礎型枠 (m2)
ST.0-0.3	0.54	0.47	0.42	0.38	0.276	1.717	0.800	0.95
ST.0.0	0.75	0.68	0.63	0.59	0.307	1.717	1.010	0.93
ST.0.41	1.07	1.01	0.96	0.92	0.356	1.717	1.340	0.90

底張コンクリート

S = 1:20



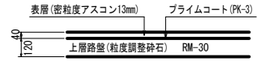
数量表　　（1m当り）

測点	B1 (m)	B2 (m)	B3 (m)	コンクリート σck=18N/mm2 (m3)	基礎砕石 RC-40 (m2)
ST.70.0	0.88	0.73	0.66	0.161	0.66
ST.75.06	0.51	0.43	0.39	0.094	0.39

舗装構成

S = 1:20

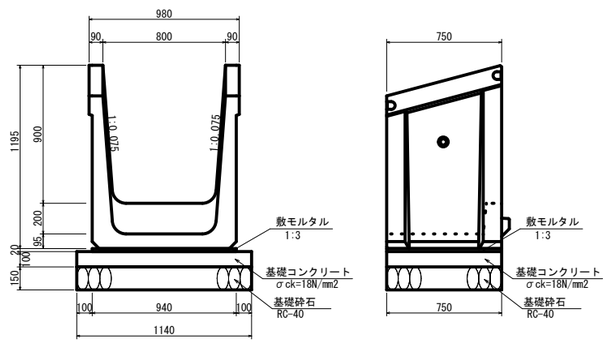
アスファルト舗装
（その他の市道(安芸津ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ)）



大型フリューム落差工-B800-H900

S = 1:20

L=0.75m 480kg



側面図

数量表　　10m当り

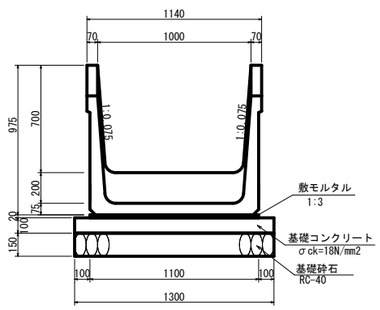
種別	規格	単位	数量
落差工	B800-H900(L=0.75m)	個	13.3
敷モルタル	1:3	m^3	0.188
基礎コンクリート	σck=18N/mm^2	m^3	1.140
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m^2	2.000
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m^2	11.400

※製品間に隙間が生じた場合は、間詰部詳細図を
参考に巻立てする事とする。

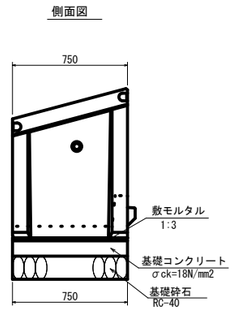
大型フリューム落差工-B1000-H700

S = 1:20

L=0.75m 358kg



側面図



数量表　　10m当り

種別	規格	単位	数量
落差工	B1000-H700(L=0.75m)	個	13.3
敷モルタル	1:3	m^3	0.220
基礎コンクリート	σck=18N/mm^2	m^3	1.300
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m^2	2.000
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m^2	13.000

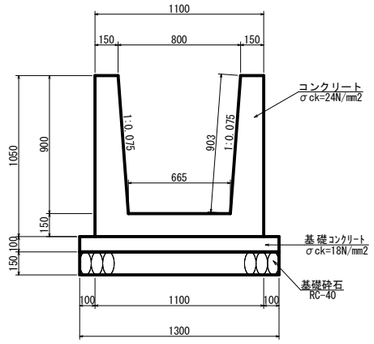
※製品間に隙間が生じた場合は、間詰部詳細図を
参考に巻立てする事とする。

A3出力時50%縮小図面

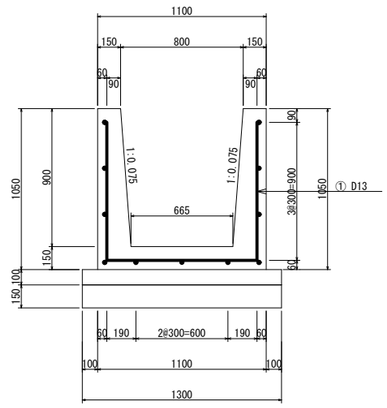
図面番号	5/8	縮尺	図示
工事名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種別	構造図1	番号	1/3
路線河川名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		
東広島市			

現場打水路-B800-H900

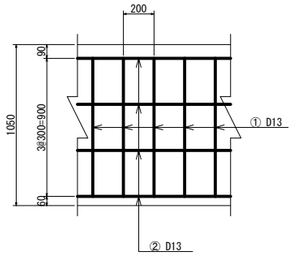
S = 1:20



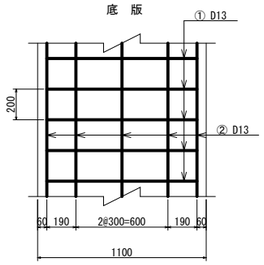
断面図



側　壁



底　版



数 量 表　　1m当り

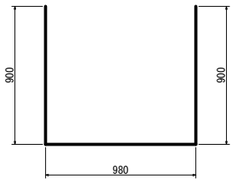
種　別	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=24N/mm²	m³	0.496
型　枠	鉄筋構造物	m²	3.906
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²	m³	0.130
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m²	0.200
基 礎 砕 石	RC-40	m²	1.300
鉄　筋	D13 SD345	kg	24.78

鉄 筋 表　　（距離当り）

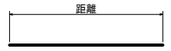
	距　離		番号	鉄筋		番号	鉄筋
測　点	距離当り	径(mm)	①	本数	径(mm)	②	本数
SECT.19.0	L=1.00m	D13	2780	6	D13	1000	11
SECT.22.5	L=0.83m	D13	2780	6	D13	830	11
SECT.29.0	L=0.75m	D13	2780	4	D13	750	11
SECT.38.5	L=0.32m	D13	2780	2	D13	320	11
SECT.48.3	L=0.68m	D13	2780	5	D13	680	11
SECT.50.7	L=0.82m	D13	2780	5	D13	820	11
SECT.54.1	L=1.37m	D13	2780	11	D13	1370	11
SECT.57.1	L=1.14m	D13	2780	7	D13	1140	11
SECT.64.4	L=0.51m	D13	2780	4	D13	510	11
SECT.66.6	L=0.60m	D13	2780	3	D13	600	11
SECT.67.9	L=0.70m	D13	2780	4	D13	700	11
SECT.71.5	L=0.50m	D13	2780	3	D13	500	11

鉄筋加工図

S = 1:20



① 5-D13×2780



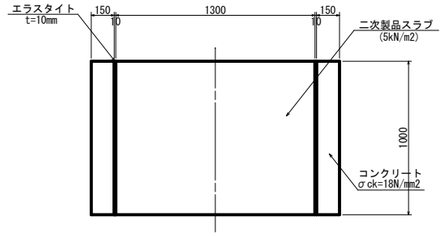
② 11-D13×距離

※m当たりの中心距離が変わる。

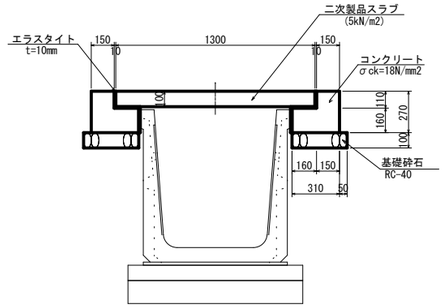
床　版　工

S = 1:20

平面図



正面図



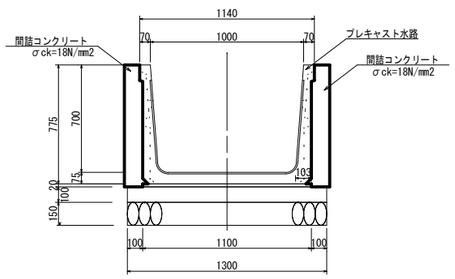
数 量 表　　1箇所当り

種　別	規　格	単位	数　量
二次製品スラブ	B1300-H1000(5kN/m2)	枚	1.0
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.132
型　枠		m²	2.160
基 礎 砕 石	RC-40 t=10cm	m²	0.720
エラスタイト	t=10mm	m²	0.850

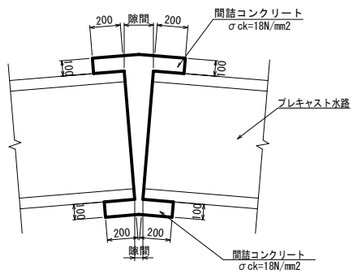
間詰部詳細図(参考図)

S=1:20

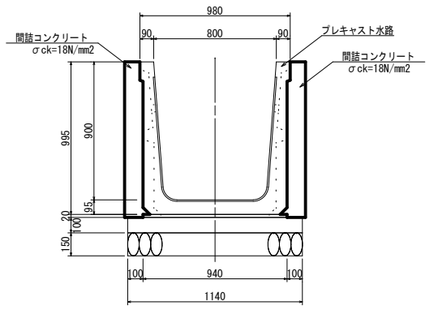
断面図



平面図



断面図



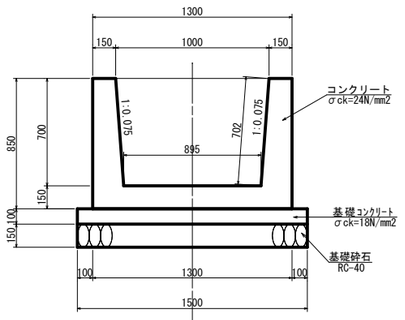
隙間番号	水路規格	左側 設計隙間 (mm)	右側 設計隙間 (mm)	1箇所当り参考材料表 間詰コンクリート(m3)	1箇所当り参考材料表 間詰コンクリート型枠(m2)
①	B1000-H700	180	2	0.069	0.480
②	B800-H900	330	4	0.114	0.617
③		190	5	0.091	1.005
④		280	120	0.185	2.030
⑤		110	3	0.111	1.447
合　計				0.570	5.579

A3出力時50%縮小図面

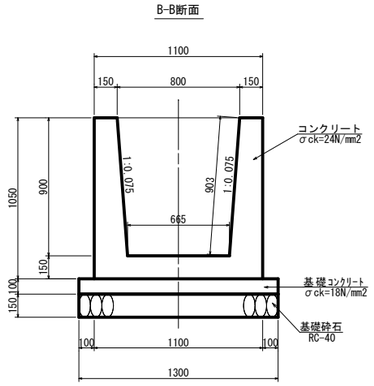
図面番号	6/8	縮尺	S=1:100
工　事　名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種　別	構 造 図 2	番号	2/3
路線 河川　名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		
東広島市			

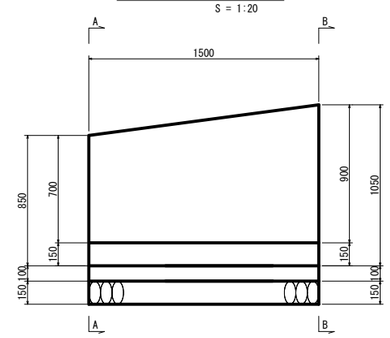
現場打水路
B1000～B800
H700～H900
S = 1:20

A-A断面



B-B断面

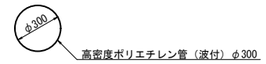




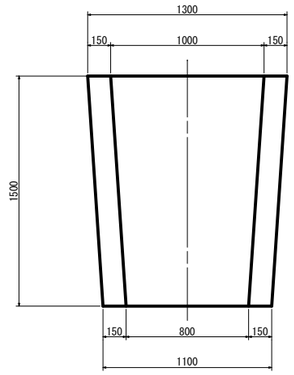
数 量 表　　1.5m当り

種　別	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=24N/mm²	m³	0.703
型　枠	鉄筋構造物	m²	5.258
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²	m³	0.210
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		m²	0.300
基礎砕石	RC-40	m²	2.100
鉄　筋	D13 SD345	kg	38.01

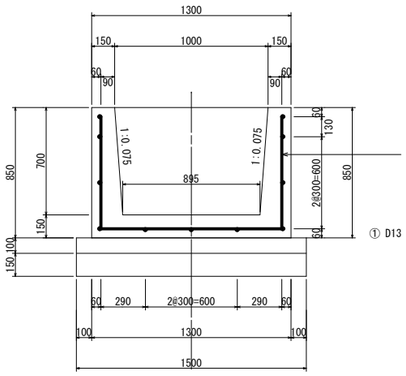
掛 樋 工
S=1:20



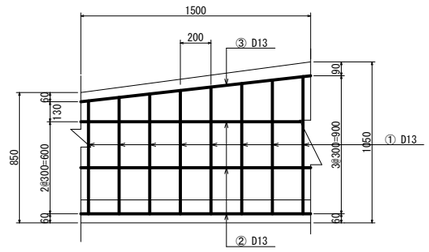
断面図



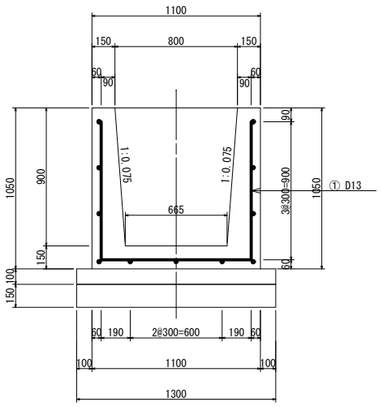
断面図



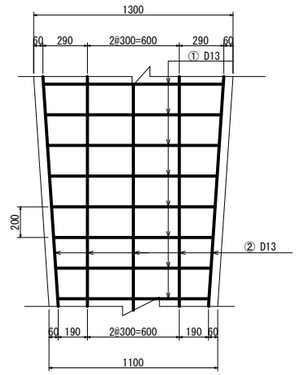
側　壁



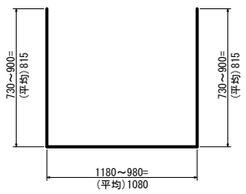
断面図



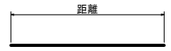
底　版



鉄筋加工図
S = 1:20

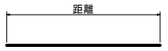


① 8-D13×2710



② 9-D13×距離

※m当たりの距離が変わる。



③ 2-D13×距離

※m当たりの距離が変わる。

鉄 筋 表　　（距離当り）

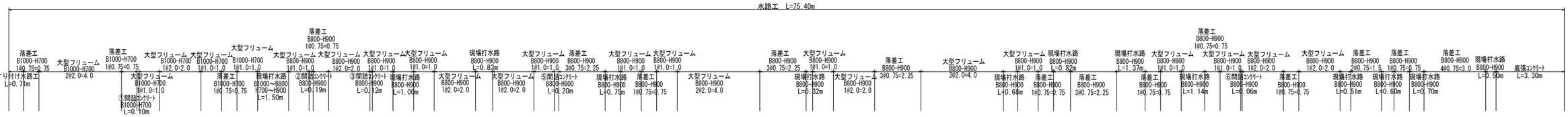
距　離		番号	鉄筋		番号	鉄筋		番号	鉄筋
距離当り	径(mm)	①	本数	径(mm)	②	本数	径(mm)	③	本数
L=1.50m	D13	2710	8	D13	1500	9	D13	1510	2

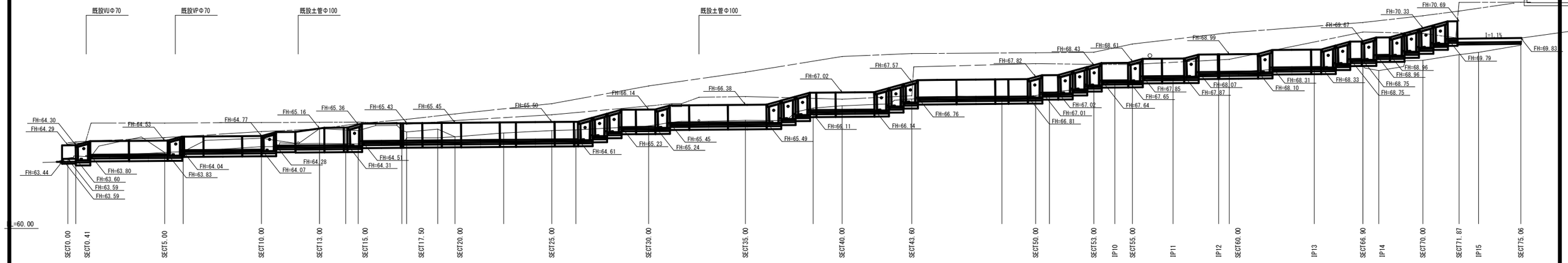
A3出力時50%縮小図面

図面番号	7／8	縮尺	S=1:100
工　事　名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種　別	構 造 図 3	番号	3／3
路線 河川　名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		
東広島市			

水路工割付図

S = 1:100





A3出力時50%縮小図面

図面番号	8/8	縮尺	S=1:100
工事名	令和８年度 河川維持修繕事業　掛中排水路修繕工事その2		
種別	水路割付図	番号	1/1
路線河川名	掛中排水路		
工事箇所	東広島市安芸津町小松原		
東広島市			

参　考　図　書

工事名称　　：　　**令和８年度　河川維持修繕事業**
掛中排水路修繕工事その２

＜注意事項＞

１　本工事は、数量公開の対象工事です。

２　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
　数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

３　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土 （砂質土）	㈱中岡建設リサイクルプラント	東広島市安芸津町木谷 1218-7	7.5km

・当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻	㈱中岡建設リサイクル施設	東広島市安芸津町木谷湯盛 37-1	6.8km

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	51 東広島市(安芸津)
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	01 河川工事	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川維持	1	式			Y1B01　　レベル1
河川土工	1	式			Y1A0101　　レベル2
河川土工	1	式			Y3999　　レベル3
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	30	m3			Y1A01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	30	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
盛土工 施工幅員2.5m未満	20	m3			Y1L07080102レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	20	m3			SPK26040004 00 単第0 -0002　表
盛土工（畦畔部） 施工幅員2.5m未満	4	m3			Y1L07080102レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	4	m3			SPK26040004 00 単第0 -0002 表
法面整形(盛土部) 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り	10	m2			Y1A01010601レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 砂及び砂質土,粘性土	10	m2			SPK26040024 00 単第0 -0003 表
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	10	m2			Y4999 レベル4
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	10	m2			SPK26040032 00 単第0 -0004 表
法面整形(切土部) 切土部 現場制約有り	50	m2			Y1A01010602レベル4
法面整形 切土部　現場制約有り レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	50	m2			SPK26040024 00 単第0 -0005 表
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	50	m2			Y4999 レベル4
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	50	m2			SPK26040032 00 単第0 -0004 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形（畦畔部） 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 畦畔部	10	m2			Y1A01010601レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 砂及び砂質土,粘性土	10	m2			SPK26040024 00 単第0 -0003 表
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	10	m2			Y4999 レベル4
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	10	m2			SPK26040032 00 単第0 -0004 表
作業土工	1	式			Y1A010201 レベル3
床堀 土砂 上記以外(小規模)	1	式			Y1L06020101レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	120	m3			SPK26040014 00 単第0 -0006 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	1	式			Y1A01020103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	80	m3			SPK26040019 00 単第0 -0007 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻しコンクリート	7	m3			Y4999　　レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	7	m3			SPK26040157 00 単第0 -0008　表
土砂等運搬	40	m3			Y4999　　レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離7.5㎞以下(6.0㎞超)	40	m3			SPK26040002 00 単第0 -0009　表
残土等処分	40	m3			Y4999　　レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
株式会社中岡建設リサイクルプラント	40	m3			F000000900　00
水路工	1	式			Y1L060610　レベル3
大型フリューム 1000×700　1000	3	m			Y1L07060603レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型フリューム 1000×700　1000	3	m			V000002700　00 単第0 -0010　表
大型フリューム 1000×700　2000	6	m			Y1L07060603レベル4
大型フリューム 1000×700　2000	6	m			V000002800　00 単第0 -0013　表
大型フリューム落差工 落差工　1000×700　750	2	m			Y1L07060603レベル4
大型フリューム落差工 1000×700　750	2	m			V000002900　00 単第0 -0015　表
大型フリューム 800×900　1000	10	m			Y1L07060603レベル4
大型フリューム 800×900　1000	10	m			V000003000　00 単第0 -0016　表
大型フリューム 800×900　2000	20	m			Y1L07060603レベル4
大型フリューム 800×900　2000	20	m			V000003100　00 単第0 -0018　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型フリューム落差工 落差工　800×900　750	19	m			Y1L07060603レベル4
大型フリューム落差工 800×900　750	19	m			V000003200　00 単第0 -0020　表
現場打水路 B1000～B800 H700～H900　L＝1.5m	1	箇所			Y1D03050601レベル4
現場打水路 B1000～B800　H700～H900　L1.5m	1	箇所			V000003300　00 単第0 -0021　表
現場打水路 B800-H900	9	m			Y1D03050601レベル4
現場打水路 B800-H900	9	m			V000003400　00 単第0 -0026　表
底張りコンクリート H＝20cm	1	式			Y1D03050601レベル4
底張りコンクリート H＝20cm	1	式			V000003500　00 単第0 -0027　表
すり付け水路	1	箇所			Y4999　レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
すりつけ水路	1	箇所			V000003600　00 単第0 -0030　表
間詰コンクリート 18-8-40	1	式			Y4999　レベル4
間詰コンクリート 18-8-40	1	式			V000003700　00 単第0 -0032　表
床版工 1300×1000×100	2	箇所			Y4999　レベル4
床版工 1300×1000　100	2	箇所			V000003800　00 単第0 -0033　表
硬質塩化ビニ管 VUφ100	0.3	m			Y4999　レベル4
硬質塩化ビニル管 VUφ100	0.3	m			F000000800　00
舗装工	1	式			Y1A011104　レベル3
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚120㎜ 1層施工 RM-30	2	m2			Y1A01110603レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120㎜ 1層施工 RM-30	2	m2			SPK26040235 00 単第0 -0035 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚40㎜	2	m2			Y1A01110609レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚40㎜	2	m2			SPK26040244 00 単第0 -0036 表
構造物取壊し工	1	式			Y1A011406 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			SPK26040304 00 単第0 -0037 表
コンクリート構造物取壊し 人力施工(コンクリートブレーカ)	7	m3			Y1A01140601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工(コンクリートブレーカ)	7	m3			SDT00031 00 単第0 -0038 表
コンクリート殻運搬	7	m3			Y49999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	7	m3			SPK26040155 00 単第0 -0039 表
CO殻処分	17	t			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
株式会社中岡建設リサイクル施設コンクリー	17	t			F000001200 00
掘削 石積取壊し 標準	30	m3			Y1A01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	30	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001 表
土砂等運搬	30	m3			Y4999 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	30	m3			SPK26040002 00 単第0 -0009 表
残土等処分	30	m3			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
株式会社中岡建設リサイクルプラント	30	m3			F000000900　00
仮締切	1	式			Y4999　　レベル4
大型土のう製作・設置(BH設置)	1	袋			SHD10003　　00 単第0 -0040　表
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m≦H≦2m	1	袋			S1050057　　00 単第0 -0042　表
購入土	1	m3			V000003900　00 単第0 -0044　表
暗渠排水管 据付・撤去 波状管 200～400mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径300mm	74	m			SPK26040093 00 単第0 -0045　表
土砂等運搬	0.8	m3			Y4999　　レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離7.5km以下(6.0km超)	0.8	m3			SPK26040002 00 単第0 -0009　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分	0.8	m3			Y4999　　レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	0.8				#0041
株式会社中岡建設リサイクルプラント	0.8	m3			F000000900　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.65%　　労務構成比:　61.34%　　材料構成比:　11.01%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,342.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土　　SPK26040004　　単第0 -0002　表

施工幅員2.5m未満　　1　m3　当り

機械構成比: 0.63%　労務構成比: 99.14%　材料構成比: 0.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 7,091.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	0.63%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　施工幅員2.5m未満					

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0003　表

盛土部 法面締固め有り 現場制約有り　　砂及び砂質土,粘性土　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.34%　労務構成比: 99.19%　材料構成比: 0.47%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,664.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.34%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	69.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	14.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.47%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=1 現場制約有り E=1 -(全ての費用)			B=1 法面締固め有り D=1 砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

人工張芝　　SPK26040032　　単第0 -0004　表

張芝 幅100cm ワラ付　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 64.52%　材料構成比: 35.48%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 787.17000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	46.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
張芝 幅100cm,ワラ付	35.48%		張芝 幅100cm ワラ付		TTPC00274 TTPT00274
積算単価			積算単価		EP001
A=1　張芝 幅100cm ワラ付					

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0005　表

切土部　現場制約有り　　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,808.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	87.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=2　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=1　現場制約有り E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0006　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.50%　労務構成比: 73.36%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0007　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　9.23%　労務構成比:　86.75%　材料構成比:　4.02%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0007　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比: 9.23%　労務構成比: 86.75%　材料構成比: 4.02%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0008　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0009　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離7.5km以下(6.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　25.12%　　労務構成比:　63.12%　　材料構成比:　11.76%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,415.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33　距離7.5km以下(6.0km超)			B=5　バックホウ B容量0.28m3 D=1　DID区間無し		

施工単価表

大型フリューム　　V000002700　　単第0 -0010　表

1000×700　1000　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=1000㎜/本	10	m			単第0-0011　表
大型フリューム 1000×700　1000	10	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.3	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

U型側溝　　SDT00013　　単第0 -0011　表

材料別途 L=1000mm/本　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.234	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 E=2　L=1000mm/本 G=1　時間的制約なし			B=6　材料別途 F=3　500≧重量 I=1　-		
J=1　- N=1.95　基礎砕石の設計数量(m3/10m)			K=2　RC-40		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0012　表

一般型枠　　均しコンクリート　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　5,387.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.85%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=5　均しコンクリート		

施工単価表

大型フリューム　　V000002800　　単第0 -0013　表

1000×700　2000　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	10	m			単第0-0014　表
大型フリューム 1000×700　2000	5	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.3	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

U型側溝　　SDT00013　　単第0 -0014　表

材料別途 L=2000mm/本　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.234	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 E=3　L=2000mm/本 G=1　時間的制約なし			B=6　材料別途 F=6　1000≧重量 I=1　-		
J=1　- N=1.95　基礎砕石の設計数量(m3/10m)			K=2　RC-40		

施工単価表

大型フリューム落差工　　V000002900　　単第0 -0015　表

1000×700　750　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=1000㎜/本	10	m			単第0-0011　表
大型フリューム 落差工　1000×700　750	13.3	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.3	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

大型フリューム　　V000003000　　単第0 -0016　表

800×900　1000　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=1000㎜/本	10	m			単第0-0017　表
大型フリューム 800×900　1000	10	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.14	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

U型側溝　　SDT00013　　単第0 -0017　表

材料別途 L=1000mm/本　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.205	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 E=2　L=1000mm/本 G=1　時間的制約なし			B=6　材料別途 F=3　500≧重量 I=1　-		
J=1　- N=1.71　基礎砕石の設計数量(m3/10m)			K=2　RC-40		

施工単価表

大型フリューム　　V000003100　　単第0 -0018　表

800×900　2000　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	10	m			単第0-0019　表
大型フリューム 800×900　2000	5	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.14	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

U型側溝　　SDT00013　　単第0 -0019　表

材料別途 L=2000mm/本　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.205	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 E=3　L=2000mm/本 G=1　時間的制約なし			B=6　材料別途 F=6　1000≧重量 I=1　-		
J=1　- N=1.71　基礎砕石の設計数量(m3/10m)			K=2　RC-40		

施工単価表

大型フリューム落差工　　V000003200　　単第0 -0020　表

800×900　750　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 材料別途 L=1000㎜/本	10	m			単第0-0017　表
大型フリューム 落差工　800×900　750	13.3	本			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.14	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

現場打水路　　V000003300　　単第0 -0021　表

B1000～B800　H700～H900　L1.5m　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) 人力打設	0.703	m3			単第0-0022　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	5.528	m2			単第0-0023　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.21	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.2	m2			単第0-0023　表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	2.1	m2			単第0-0024　表
鉄筋 SD345 D13	0.04	t			単第0-0025　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0022　表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(普通)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000001 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=4 コンクリート(各種) F=2 一般養生 J=2 小型車割増有			B=3 人力打設 D=1 【F】コンクリート(m3) H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0023　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,653.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0024　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.85%　労務構成比:　75.15%　材料構成比:　20.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,388.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.82%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	15.16%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0024　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.85%　労務構成比:　75.15%　材料構成比:　20.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,388.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3　砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0025　表

SD345 D13　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4　SD345 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

現場打水路　　V000003400　　単第0 -0026　表

B800-H900　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) 人力打設	0.496	m3			単第0-0022　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3.906	m2			単第0-0023　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.13	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.2	m2			単第0-0023　表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	1.3	m2			単第0-0024　表
鉄筋 SD345 D13	0.025	t			単第0-0025　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

底張りコンクリート　　V000003500　　単第0 -0027　表

H＝20cm　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.4	m3			単第0-0028　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	2	m2			単第0-0029　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0028　表

小型構造物 18-8-40BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0029　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.11%　　労務構成比:　79.15%　　材料構成比:　15.74%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,318.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.08%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	38.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.10%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	10.65%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0029　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.11%　労務構成比:　79.15%　材料構成比:　15.74%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,318.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

すりつけ水路　　V000003600　　単第0 -0030　表

1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.2	m3			単第0-0028　表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.2	m2			単第0-0031　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			単第0-0008　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.1	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0031　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

間詰コンクリート　　V000003700　　単第0 -0032　表

18-8-40　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.6	m3			単第0-0028　表
型枠 一般型枠 小型構造物	6	m2			単第0-0031　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

床版工　　V000003800　　単第0 -0033　表

1300×1000　100　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
簡易床版 1300×1000　100	1	枚			
床版設置工 据付 基礎砕石無し 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下	1	基			単第0-0034　表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.132	m3			単第0-0028　表
型枠 一般型枠 小型構造物	2.16	m2			単第0-0031　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.72	m2			単第0-0029　表
目地板 瀝青質板 厚10mm	0.85	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

床版設置工　　SPK26040096　　単第0 -0034　表

据付 基礎砕石無し　　製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下　　1　基　当り

機械構成比: 11.60%　労務構成比: 85.02%　材料構成比: 3.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,560.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	10.95%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.28m3 吊能力1.7t		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	43.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	19.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.19%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

床版設置工　　SPK26040096　　単第0 -0034　表

据付 基礎砕石無し　　製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下　　1　　基　　当り

機械構成比: 11.60%　労務構成比: 85.02%　材料構成比: 3.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,560.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 基礎砕石無し			B=3 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下 D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK26040235　単第0 -0035　表

全仕上り厚120mm 1層施工　RM-30　1　m2　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.68%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.59%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30～0mm	22.56%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK26040235　単第0 -0035　表

全仕上り厚120mm 1層施工　RM-30　1　m2　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=120　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=1　RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK26040244　単第0 -0036　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.45%　労務構成比: 52.37%　材料構成比: 47.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.08%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	41.06%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.93%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)　SPK26040244　単第0 -0036　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.45%　労務構成比: 52.37%　材料構成比: 47.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0037　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0037　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0038　表

人力施工(コンクリートブレーカ)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工(コンクリートブレーカ)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0039　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し　運搬距離8.0km以下(5.7km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,595.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=34　運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)　　SHD10003　　単第0 -0040　表

10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0041　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　　1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　S9035　単第0 -0041　表
C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	63.00	L			
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	1.28	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=23　C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型 C=1　運転労務数量(人/日)			B=63　軽油消費量(L/日) D=1.28　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

大型土のう撤去　　S1050057　　単第0 -0042　表

設置作業半径_6m以下　　設置面高さ_-3m≦H≦2m　　10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.087	人			
特殊作業員	0.087	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.087	日			単第0-0043　表
諸雑費	0.4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　設置作業半径_6m以下			B=1　設置面高さ_-3m≦H≦2m		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0043　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	101.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.21	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=101　軽油消費量(L/日) D=1.21　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

購入土　　V000003900　　単第0 -0044　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離7.5km以下(6.0km超)	1	m3			単第0-0009　表
再生土	1	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

暗渠排水管　　SPK26040093　　単第0 -0045　表

据付・撤去 波状管 200～400mm　　ダブル 合成樹脂排水材 呼び径300mm　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 11.43%　材料構成比: 88.57%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,567.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	7.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <ダブル構造>内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径300mm	88.57%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0260 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=21 ダブル 合成樹脂排水材 呼び径300mm G=3 期間3～6ヶ月未満(損料率0.3) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】 管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

令和8年度

工　事　費　内　訳

排水路

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数量	摘　要
本工事費	排水路土工							
	掘削工							
		掘削(土砂)		礫質土	m3	30	31.3	
	盛土工							
		盛土			m3	20	15.4	
		盛土		畦畔部	m3	4	3.6	
	法面整形工							
		法面整形 (盛土部)	機械	礫質土	m2	10	13.9	法面
		法面整形 (切土部)	機械	礫質土	m2	50	53.4	法面
		法面整形 (畦畔部)	機械		m2	10	13.6	法面
	残土処理工							
		残土処理		礫質土	m3	40	41.9	
	法面工							
		盛土法面	盛土法面	張芝	m2	10	13.9	
		切土法面	切土法面	張芝	m2	50	53.4	

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数量	摘　要
		畦畔法面	畦畔法面	張芝	m2	10	13.6	
	排水路土工							
	作業土工							
		床掘		礫質土	m3	120	118.5	
		埋戻	バックホウ埋戻	礫質土	m3	80	78.1	
		埋戻コンクリート	コンクリート	σck=18N/mm2	m3	7	6.9	
		基面整正		礫質土	m2			
	排水路工							
	水 路 工							
		大型フリューム水路工	B1000-H700	L=1.0m	m	3	3.0	3 個
		〃	〃	L=2.0m	m	6	6.0	3 個
		〃	落差工 〃	L=0.75m	m	2	2.3	3 個
		大型フリューム水路工	B800-H900	L=1.0m	m	10	10.0	10 個
		〃	〃	L=2.0m	m	20	20.0	10 個
		〃	落差工 〃	L=0.75m	m	19	18.75	25 個
		〃	B1000～B800	L=1.5m	箇所	1	1.0	0.703 m3

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数量	摘　要
		〃	B800-H900	L=1.0m	m	9	9.2	0.496 m3
		すり付け水路工	コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.2	0.2	1箇所計上
			型枠	小型構造物	m2	1.2	1.2	
			基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m2	0.1	0.1	
			基礎型枠		m2	0.1	0.1	
		底張コンクリート	コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.4	0.4	1式計上
			型枠	小型構造物	m2			
			基礎砕石	RC-40	m2	2	1.8	
		間詰コンクリート	コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.6	0.57	1式計上
			型枠	小型構造物	m2	6	5.6	
		床版工			箇所	2	2	0.264m3
		VUΦ100			m	0.3	0.3	
	舗装工							
	舗 装 工							
		表　層	アスファルト	密粒度アスコン13mm	m2	2	1.7	
		路盤工	粒度調整砕石	RM-30	m2	2	1.7	

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数量	摘　要
	構造物取り壊し工							
		コンクリート		無筋構造物	m3	7	7.2	
		切断工		t=4cm	m2	7	6.6	
		石積取壊工		控35cm	m2	98	97.8	97.8*0.35=34.2m3
	仮設工							
		仮締切工						
			仮締切	大型土のう	袋	1	1	
				購入土	m3	1	1	×1.00ほぐし土量
			掛樋工	φ300	m	74	74.0	高密度ポリエチレン管
		撤去工						
			大型土のう（仮締切）	残土運搬	m3	0.8		1.0÷1.20　地山土量
			〃	処分	m3	0.8		

土量配分表

掘　削　土			
掘　削	礫質土	31.3	m3
床　掘	〃	118.5	m3
計		149.8	m3

19.0　／ 0.9　＝ 21.1　m3

土量変化率　0.9

盛　土			
盛　土	礫質土	19.0	m3

78.1　／ 0.9　＝ 86.8　m3

土量変化率　0.9

埋　戻　土			
埋　戻	礫質土	78.1	m3

41.9　m3

残　土　処　分			
計	礫質土	41.9	m3
	砂質土	0.8	m3

水路土工1　　計 算 書

（　　）

測 点	距 離	機械掘削C(GF)			盛土 B									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
		0.0			0.0									
SECT.0.0	0.3	0.3	0.15	0.0	0.1	0.05	0.0							
SECT.0.41	0.4	0.8	0.55	0.2	0.2	0.15	0.1							
SECT.5.0	4.6	1.1	0.95	4.4	0.2	0.20	0.9							
SECT.10.0	5.0	0.9	1.00	5.0	0.2	0.20	1.0							
SECT.13.0	3.0	0.4	0.65	2.0	0.0	0.10	0.3							
SECT.15.0	2.0	0.1	0.25	0.5	0.0	0.00	0.0							
SECT.17.5	2.5	0.1	0.10	0.3	0.1	0.05	0.1							
SECT.20.0	2.5	0.4	0.25	0.6	0.2	0.15	0.4							
SECT.25.0	5.0	0.7	0.55	2.8	0.3	0.25	1.3							
SECT.30.0	5.0	0.4	0.55	2.8	0.2	0.25	1.3							
SECT.35.0	5.0	1.7	1.05	5.3	0.6	0.40	2.0							
SECT.40.0	5.0	0.2	0.95	4.8	0.2	0.40	2.0							
SECT.43.6	3.6	0.1	0.15	0.5	0.1	0.15	0.5							
SECT.50.0	6.4	0.2	0.15	1.0	0.2	0.15	1.0							
SECT.53.0	3.0	0.3	0.25	0.8	0.3	0.25	0.8							
SECT.55.0	2.0	0.0	0.15	0.3	0.1	0.20	0.4							

測　点	距　離	機械掘削C(GF)			盛土　B									摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
SECT.60.0	5.0				0.4	0.25	1.3							
SECT.66.9	6.9				0.0	0.20	1.4							
SECT.70.0	3.1				0.1	0.05	0.2							
SECT.71.87	1.9				0.3	0.20	0.4							
	0.0													
SECT.75.06	3.2													
合　計	75.4			m3 31.3			m3 15.4							

水路土工2　　計 算 書

（　　）

測 点	距 離	畦畔盛土 B1												摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
		0.0	0.00											
SECT.0.0	0.2	0.1	0.05	0.0										
SECT.0.41	0.4	0.1	0.10	0.0										
SECT.5.0	4.6	0.1	0.10	0.5										
SECT.10.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.13.0	3.0	0.1	0.10	0.3										
SECT.15.0	1.5	0.1	0.10	0.2										
	1.1	0.1	0.10	0.1										
	0.0	0.0												
	0.2	0.1	0.05	0.0										
SECT.43.6	1.0	0.1	0.10	0.1										
SECT.50.0	8.0	0.2	0.15	1.2										
SECT.53.0	3.7	0.1	0.15	0.6										
	0.8	0.1	0.10	0.1										
合　計	29.5			m3 3.6			m3 0.0							

水路土工1(左岸)　　計 算 書

(　　)

側 点		法面整形(盛土部) L1			法面整形(切土部) L2									摘 要
		斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	
	0.0				0.0	0.00	0.0							
	0.8				0.6	0.30	0.2							
SECT.20.0	0.9				0.8	0.70	0.6							
SECT.25.0	5.2				1.1	0.95	4.9							
	1.3				1.0	1.05	1.4							
	2.4				0.4	0.70	1.7							
SECT.30.0	1.4				0.5	0.45	0.6							
	1.1				0.2	0.35	0.4							
	0.0				0.2	0.20	0.0							
	0.6				1.5	0.85	0.5							
SECT.35.0	2.3				2.0	1.75	4.0							
SECT.40.0	5.1				1.6	1.80	9.2							
SECT.43.6	3.6				0.6	1.10	4.0							
	4.3				0.0	0.30	1.3							
SECT.50.0	0.0	0.0												
SECT.53.0	2.7	0.9	0.45	1.2										
	0.9	1.4	1.15	1.0										
	0.6	0.0	0.70	0.4										
小　計	33.2			m2 2.6			m2 28.8			m2 0.0			m2 0.0	

水路土工2(右岸)　　計 算 書

(　　)

測 点	距 離	法面整形(盛土部) L1			法面整形(切土部) L2									摘 要
		斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	斜 長	平 均	数 量	
	0.0				0.2									
SECT.0.0	0.5				1.1	0.65	0.3							
SECT.0.41	0.4				1.9	1.50	0.6							
SECT.5.0	4.6				1.4	1.65	7.6							
SECT.10.0	5.0				1.0	1.20	6.0							
SECT.13.0	3.0				0.3	0.65	2.0							
SECT.15.0	1.8				0.0	0.15	0.3							
	0.0	0.1												
SECT.17.5	1.3	0.1	0.10	0.1										
	1.9	0.1	0.10	0.2										
	0.0	0.0	0.05	0.0	0.0									
SECT.20	0.8				0.1	0.05	0.0							
	1.7				0.0	0.05	0.1							
	0.0				0.2									
SECT.35.0	2.9				0.7	0.45	1.3							
	2.1				0.0	0.35	0.7							

測　点	距 離	法面整形(盛土部) L1			法面整形(切土部) L2									摘　要
		斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	
	0.0	0.0												
	2.1	0.5	0.25	0.5										
	0.0				0.0									
SECT.43.6	0.2				0.1	0.05	0.0							
	2.9				0.9	0.50	1.5							
SECT.50.0	3.9				0.7	0.80	3.1							
SECT.53.0	3.2				0.0	0.35	1.1							
SECT.53.0	0.0	0.0												
SECT.55.0	0.0	0.2	0.10	0.0										
	0.4	1.0	0.60	0.2										
SECT.60.0	4.2	1.4	1.20	5.0										
	0.8	1.3	1.35	1.1										
	0.1	0.6	0.95	0.1										
	1.3	1.1	0.85	1.1										
	2.0	0.0	0.55	1.1										
	0.0	0.0												
SECT.70.0	2.6	0.5	0.25	0.7										
	1.2	1.0	0.75	0.9										
	0.6	0.0	0.50	0.3										
小　計	51.5			m2 11.3			m2 24.6			m2 0.0			m2 0.0	
合　計	103.0			m2 13.9			m2 53.4							

水路土工3　　計 算 書

（　　）

測　点	距 離							法面整形(畦畔部)左 L3			法面整形(畦畔部)右 L4			摘　要
		斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	
	0.0							0.0			0.2			
SECT.0.0	0.2							0.2	0.10	0.0	0.2	0.20	0.0	
SECT.0.41	0.4							0.2	0.20	0.1	0.1	0.15	0.1	
SECT.5.0	4.6							0.2	0.20	0.9	0.1	0.10	0.5	
SECT.10.0	5.0							0.2	0.20	1.0	0.1	0.10	0.5	
SECT.13.0	3.0							0.2	0.20	0.6	0.1	0.10	0.3	
SECT.15.0	1.5							0.2	0.20	0.3	0.1	0.10	0.2	
	1.1							0.2	0.20	0.2	0.1	0.10	0.1	
	0.0							0.0	0.10	0.0	0.2			
	0.2							0.2	0.10	0.0	0.2	0.20	0.0	
SECT.43.6	1.0							0.2	0.20	0.2	0.2	0.20	0.2	
SECT.50.0	8.0							0.5	0.35	2.8	0.4	0.30	2.4	
SECT.53.0	3.7							0.3	0.40	1.5	0.3	0.35	1.3	
	0.8							0.3	0.30	0.2	0.3	0.30	0.2	
小　計	29.5			m2 0.0			m2 0.0			m2 7.8			m2 5.8	
合　計													m2 13.6	

法面工1(左岸)　　計 算 書

(　　)

測　点	距 離	盛土法面(張芝) L			切土法面(張芝) L'									摘　要
		斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	
	0.0				0.0									
	0.8				0.6	0.30	0.2							
SECT.20.0	0.9				0.8	0.70	0.6							
SECT.25.0	5.2				1.1	0.95	4.9							
	1.3				1.0	1.05	1.4							
	2.4				0.4	0.70	1.7							
SECT.30.0	1.4				0.5	0.45	0.6							
	1.1				0.2	0.35	0.4							
	0.0				0.2	0.20	0.0							
	0.6				1.5	0.85	0.5							
SECT.35.0	2.3				2.0	1.75	4.0							
SECT.40.0	5.1				1.6	1.80	9.2							
SECT.43.6	3.6				0.6	1.10	4.0							
	4.3				0.0	0.30	1.3							
SECT.50.0	0.0	0.0												
SECT.53.0	2.7	0.9	0.45	1.2										
	0.9	1.4	1.15	1.0										
	0.6	0.0	0.70	0.4										
小　計	33.2			m2 2.6			m2 28.8			m2 0.0			m2 0.0	

法面工2(右岸)　　計 算 書

(　　)

測　点	距 離	盛土法面(張芝) L			切土法面(張芝) L'									摘　要
		斜　長	平　均	数 量	斜　長	平　均	数 量	斜　長	平　均	数 量	斜　長	平　均	数 量	
	0.0				0.2									
SECT.0.0	0.5				1.1	0.65	0.3							
SECT.0.41	0.4				1.9	1.50	0.6							
SECT.5.0	4.6				1.4	1.65	7.6							
SECT.10.0	5.0				1.0	1.20	6.0							
SECT.13.0	3.0				0.3	0.65	2.0							
SECT.15.0	1.8				0.0	0.15	0.3							
	0.0	0.1												
SECT.17.5	1.3	0.1	0.10	0.1										
	1.9	0.1	0.10	0.2										
	0.0	0.0	0.05	0.0	0.0									
SECT.20	0.8				0.1	0.05	0.0							
	1.7				0.0	0.05	0.1							
	0.0				0.2									
SECT.35.0	2.9				0.7	0.45	1.3							
	2.1				0.0	0.35	0.7							

測　点	距 離	盛土法面(張芝) L			切土法面(張芝) L'									摘　要
		斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	
	0.0	0.0												
	2.1	0.5	0.25	0.5										
	0.0				0.0									
SECT.43.6	0.2				0.1	0.05	0.0							
	2.9				0.9	0.50	1.5							
SECT.50.0	3.9				0.7	0.80	3.1							
SECT.53.0	3.2				0.0	0.35	1.1							
SECT.53.0	0.0	0.0												
SECT.55.0	0.0	0.2	0.10	0.0										
	0.4	1.0	0.60	0.2										
SECT.60.0	4.2	1.4	1.20	5.0										
	0.8	1.3	1.35	1.1										
	0.1	0.6	0.95	0.1										
	1.3	1.1	0.85	1.1										
	2.0	0.0	0.55	1.1										
	0.0	0.0												
SECT.70.0	2.6	0.5	0.25	0.7										
	1.2	1.0	0.75	0.9										
	0.6	0.0	0.50	0.3										
小　計	51.5			m2 11.3			m2 24.6			m2 0.0			m2 0.0	
合　計				m2 13.9			m2 53.4							

法面工3(右岸)　　計 算 書

(　　)

測　点	距 離							畦畔法面(張芝)左 L''			畦畔法面(張芝)右 L''			摘　要
		斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	斜　長	平　均	数　量	
	0.0							0.0			0.2			
SECT.0.0	0.2							0.2	0.10	0.0	0.2	0.20	0.0	
SECT.0.41	0.4							0.2	0.20	0.1	0.1	0.15	0.1	
SECT.5.0	4.6							0.2	0.20	0.9	0.1	0.10	0.5	
SECT.10.0	5.0							0.2	0.20	1.0	0.1	0.10	0.5	
SECT.13.0	3.0							0.2	0.20	0.6	0.1	0.10	0.3	
SECT.15.0	1.5							0.2	0.20	0.3	0.1	0.10	0.2	
	1.1							0.2	0.20	0.2	0.1	0.10	0.1	
	0.0							0.0	0.10	0.0	0.2			
	0.2							0.2	0.10	0.0	0.2	0.20	0.0	
SECT.43.6	1.0							0.2	0.20	0.2	0.2	0.20	0.2	
SECT.50.0	8.0							0.5	0.35	2.8	0.4	0.30	2.4	
SECT.53.0	3.7							0.3	0.40	1.5	0.3	0.35	1.3	
	0.8							0.3	0.30	0.2	0.3	0.30	0.2	
小　計	29.5			m2 0.0			m2 0.0			m2 7.8			m2 5.8	
合　計													m2 13.6	

作業土工　　計 算 書

（　　）

測　点	距 離	床掘E(GF)			埋戻(Fu)			埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ(FuCo)			基面整正			摘　要
		断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	巾	平　均	数 量	
														水路工
		0.0			0.0									〃
SECT.0.0	0.3	1.0	0.50	0.2	0.5	0.25	0.1							〃
	0.4	1.3	1.15	0.5	0.4	0.45	0.2							〃
SECT.0.41	0.0	1.4	1.35	0.0	0.5	0.45	0.0	0.1						〃
SECT.5.0	4.6	1.4	1.40	6.4	0.5	0.50	2.3	0.1	0.10	0.5				〃
SECT.10.0	5.0	1.5	1.45	7.3	0.6	0.55	2.8	0.1	0.10	0.5				〃
SECT.13.0	3.0	2.1	1.80	5.4	1.0	0.80	2.4	0.1	0.10	0.3				〃
SECT.15.0	2.0	1.9	2.00	4.0	0.9	0.95	1.9	0.3	0.20	0.4				〃
	0.9	1.9	1.90	1.7	0.9	0.90	0.8	0.3	0.30	0.3				〃
	0.0	2.3	2.10	0.0	1.5	1.20	0.0							〃
SECT.17.5	1.6	2.3	2.30	3.7	1.5	1.50	2.4							〃
SECT.20.0	2.5	2.4	2.35	5.9	1.5	1.50	3.8							〃
SECT.25.0	5.0	2.5	2.45	12.3	1.5	1.50	7.5							〃
SECT.30.0	5.0	2.2	2.35	11.8	1.5	1.50	7.5							〃
SECT.35.0	5.0	2.3	2.25	11.3	1.5	1.50	7.5							〃
SECT.40.0	5.0	1.9	2.10	10.5	1.5	1.50	7.5							〃
SECT.43.6	3.6	1.5	1.70	6.1	1.5	1.50	5.4							〃

測　点	距　離	床掘E(GF)			埋戻(Fu)			埋戻ｺﾝｸﾘｰﾄ(FuCo)			基面整正			摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	巾	平　均	数　量	
SECT.50.0	6.4	2.3	1.90	12.2	1.7	1.60	10.2							〃
SECT.53.0	3.0	1.5	1.90	5.7	1.3	1.50	4.5							〃
SECT.55.0	2.0	1.0	1.25	2.5	0.7	1.00	2.0	0.3						〃
SECT.60.0	5.0	1.0	1.00	5.0	0.4	0.55	2.8	0.3	0.30	1.5				〃
SECT.66.9	6.9	0.1	0.55	3.8	0.5	0.45	3.1	0.3	0.30	2.1				〃
SECT.70.0	3.1	0.6	0.35	1.1	0.7	0.60	1.9	0.3	0.30	0.9				〃
SECT.71.87	1.9	0.6	0.60	1.1	0.4	0.55	1.0	0.1	0.20	0.4				〃
					0.2	0.30		0.0	0.05					〃
SECT.75.06	3.2				0.1	0.15	0.5							〃
														〃
														〃
														〃
														〃
														〃
														〃
														〃
														〃
														〃
合　計	75.4			m3 118.5			m3 78.1			m3 6.9			m2 0.0	

水路工-B1000-H700

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
B1000-H700	L=1.0m	SECT.0.0～SECT.11.7	3.00　m	3 個
B1000-H700	L=2.0m	SECT.0.0～SECT.11.7	6.00　m	3 個
B1000-H700	落差工 L=0.75m	SECT.0.0～SECT.11.7	2.25　m	3 個
合 計			11.25　m	

水路工-B800-H900

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
B800-H900	L=1.0m	SECT.13.2～SECT.71.8	10.00　m	10 個
B800-H900	L=2.0m	SECT.13.2～SECT.71.8	20.00　m	10 個
B800-H900	落差工 L=0.75m	SECT.13.2～SECT.71.8	18.75　m	25 個
合 計			48.75　m	

現場打水路工-(B1000～B800)

(　　)

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
H700～H900		SECT.13.0付近		
1.5m				
		1.0　　箇所	1.00　箇所	
合　計			1.00　箇所	

現場打水路工-B800-H900

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
B800-H900		SECT.12.26～SECT.71.8		
		距離		
SECT.19.0		1.00　×　1.0　箇所 =	1.00　m	
SECT.22.5		0.83　×　1.0　箇所 =	0.83　m	
SECT.29.0		0.75　×　1.0　箇所 =	0.75　m	
SECT.38.5		0.32　×　1.0　箇所 =	0.32　m	
SECT.48.3		0.68　×　1.0　箇所 =	0.68　m	
SECT.50.7		0.82　×　1.0　箇所 =	0.82　m	
SECT.54.1		1.37　×　1.0　箇所 =	1.37　m	
SECT.57.1		1.14　×　1.0　箇所 =	1.14　m	
SECT.64.4		0.51　×　1.0　箇所 =	0.51　m	
SECT.66.6		0.60　×　1.0　箇所 =	0.60　m	
SECT.67.9		0.70　×　1.0　箇所 =	0.70　m	
SECT.71.5		0.50　×　1.0　箇所 =	0.50　m	
合　計			9.22　m	

すり付け水路　　計 算 書

（　　）

測　点	距 離	コンクリート			型枠			基礎コンクリート			基礎型枠			摘　要
		断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	
SECT.0.0-0.3		0.28			1.72			0.12			0.15			
SECT.0.0	0.30	0.31	0.29	0.1	1.72	1.72	0.5	0.16	0.14	0.0	0.15	0.15	0.0	
SECT.0.41	0.41	0.36	0.33	0.1	1.72	1.72	0.7	0.20	0.18	0.1	0.15	0.15	0.1	
合計	0.71			m3 0.2			m2 1.2			m3 0.1			m2 0.1	

すり付け水路

--- 形　状 ---

（擁壁部）

天 端 幅	（m）＝	0.150	
前 面 勾 配	＝	0.200	（斜 率 ＝ 1.01980 ）
背 面 勾 配	＝	0.000	（斜 率 ＝ 1.00000 ）
基 礎 厚	（m）＝	0.150	（均しコンクリート）
〃	（m）＝		（基礎砕石）
基礎のフカシ	（m）＝	0.050	

（ 1 m 当 り 数 量 表 ）

	高 さ	本体下幅	基礎幅	コンクリート	型 枠	基礎コンクリート		基礎コン型枠	基 礎 砕 石	
	H（m）	B（m）	B +0.1(m)	(m3)	(m2)	(m2)	(m3)	(m2)	(m2)	(m3)
	(擁壁部)									
ST.0-0.3	0.85	0.320	0.420	0.200	1.717	0.420	0.063	0.150		
ST.0.0	0.85	0.320	0.420	0.200	1.717	0.420	0.063	0.150		
ST.0.41	0.85	0.320	0.420	0.200	1.717	0.420	0.063	0.150		

（ 1 m 当 り 数 量 表 ）

	高 さ	底張上幅	底張下幅	基礎上幅	基礎下幅	コンクリート	基礎コンクリート		基 礎 砕 石	
	H（m）	B1（m）	B2(m)	B3（m）	B4(m)	(m3)	(m2)	(m3)	(m2)	(m3)
	(底張部)									
ST.0-0.3	0.15	0.540	0.470	0.420	0.380	0.076	0.380	0.060		
ST.0.0	0.15	0.750	0.680	0.630	0.590	0.107	0.590	0.092		
ST.0.41	0.15	1.070	1.010	0.960	0.920	0.156	0.920	0.141		

				コンクリート	型 枠	均しコンクリート		均しコン型枠	基 礎 砕 石	
				(m3)	(m2)	(m2)	(m3)	(m2)	(m2)	(m3)
ST.0-0.3	(擁壁部+ 底張部)		合計	0.28	1.72	0.80	0.12	0.15		
ST.0.0		〃	合計	0.31	1.72	1.01	0.16	0.15		
ST.0.41		〃	合計	0.36	1.72	1.34	0.20	0.15		

底張コンクリート　　計 算 書

（　　）

測 点	距 離	コンクリート			型枠			基礎砕石						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
	0.00	0.16						0.66						
SECT.71.87	0.10	0.16	0.16	0.0				0.66	0.66	0.1				
SECT.75.06	3.20	0.09	0.13	0.4				0.39	0.53	1.7				
合計	3.30			m3 0.40			m2 0.00			m2 1.80				

底張コンクリートエ

（１ｍ当り数量表）

	高さ H（m）	底張上幅 B1（m）	底張下幅 B2(m)	基礎上幅 B2（m）	基礎下幅 B3(m)	コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m2)	基礎コンクリート (m3)	基礎砕石 (m2)	基礎砕石 (m3)
	(底張部)									
ST.70.0	0.20	0.880	0.730	0.730	0.660	0.161			0.660	0.139
ST.75.06	0.20	0.510	0.430	0.430	0.390	0.094			0.390	0.082

間詰コンクリート　　計 算 書

（　　）

測　点	距 離	コンクリート			型枠									摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
														中心距離
① SECT.6.0				0.07			0.48				片方出無し			B1000-H700 L=0.10m
② SECT.14.4				0.11			0.62				片方出無し			B800-H900 L=0.19m
③ SECT.17.3				0.09			1.00				床版工あり(片方半分出無し)			B800-H900 L=0.12m
④ SECT.26.3				0.19			2.03							B800-H900 L=0.20m
⑤ SECT.59.5				0.11			1.45							B800-H900 L=0.06m
合計	0.00			m3 0.57			m2 5.58			0.0				

床 版 工

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
床版工		SECT.17.5付近	1　箇所	0.132m3
		SECT.31.6付近	1　箇所	0.132m3
合　計			2　箇所	0.264m3

VUΦ100

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
VUΦ100		SECT.12.0付近	0.3　m	
合　計			0.3　m	

アスファルト舗装工　　計 算 書

（　　）

測　点	距 離	表層(アスファルト) W1			路盤工(RM30) W2									摘　要
		幅	平 均	数 量	幅	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
	0.0	0.40			0.40									
SECT.17.5	1.7	0.40	0.40	0.7	0.40	0.40	0.7							
SECT.20.0	2.6	0.20	0.30	0.8	0.20	0.30	0.8							
	1.7	0.00	0.10	0.2	0.00	0.10	0.2							
	1.5													
合　計	7.5			m2 1.7			m2 1.7							

構造物取壊し工(1)　　計 算 書

(　　)

測　点	距 離	コンクリート取り壊し(CCo)												摘　要
		断　面	平　均	数 量		平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	
		0.1												
SECT.0.0	0.3	0.1	0.10	0.0										
SECT.0.41	0.4	0.1	0.10	0.0										
SECT.5.0	4.6	0.1	0.10	0.5										
SECT.10.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.13.0	3.0	0.1	0.10	0.3										
SECT.15.0	2.0	0.1	0.10	0.2										
SECT.17.5	2.5	0.1	0.10	0.3										
SECT.20.0	2.5	0.1	0.10	0.3										
SECT.25.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.30.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.35.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.40.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
SECT.43.6	3.6	0.2	0.15	0.5										
SECT.50.0	6.4	0.1	0.15	1.0										
SECT.53.0	3.0	0.1	0.10	0.3										
SECT.55.0	2.0	0.1	0.10	0.2										

測　点	距　離	コンクリート取り壊し(CCo)												摘　要
		断　面	平　均	数　量		平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
SECT.60.0	5.0	0.1	0.10	0.5										
	6.3	0.1	0.10	0.6										
合　計	66.6			m3 7.2			m3 0.0							

構造物取壊し工(2)

(　　)

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
切 断 工				
(アスファルト舗装)	t=4cm (左側)	SECT.15.7～SECT.21.7	6.6　m	
合 計			6.6　m	

切 断 工

測 点	距 離 左 側 t=4cm	距 離	距 離
SECT.17.5	2.2		
SECT.20.0	2.7		
	1.7		
	m	m	m
合 計	6.6	0.0	0.0

構造物取壊し工(3)　　計 算 書

(　　)

測　点	距 離	石積取り壊し(CSt)左内			石積取り壊し(CSt)左外									摘　要
		断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	断　面	平　均	数 量	
	0.0	0.8												
SECT.17.5	1.6	0.8	0.80	1.3										
SECT.20.0	2.5	1.0	0.90	2.3										
SECT.25.0	5.0	1.0	1.00	5.0										
SECT.30.0	5.0	1.1	1.05	5.3										
SECT.35.0	5.0	1.3	1.20	6.0										
SECT.40.0	5.0	0.7	1.00	5.0										
SECT.43.6	3.6	0.4	0.55	2.0										
SECT.50.0	6.4	0.8	0.60	3.8										
SECT.53.0	3.0	1.1	0.95	2.9										
	0.8	1.1	1.10	0.9										

測　点	距　離	石積取り壊し(CSt)左内			石積取り壊し(CSt)左外									摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
	0.0				0.4									
SECT.53.0	1.3				0.4	0.40	0.5							
	1.2				0.6	0.50	0.6							
小　計	40.4			m2 34.5			m2 1.1							

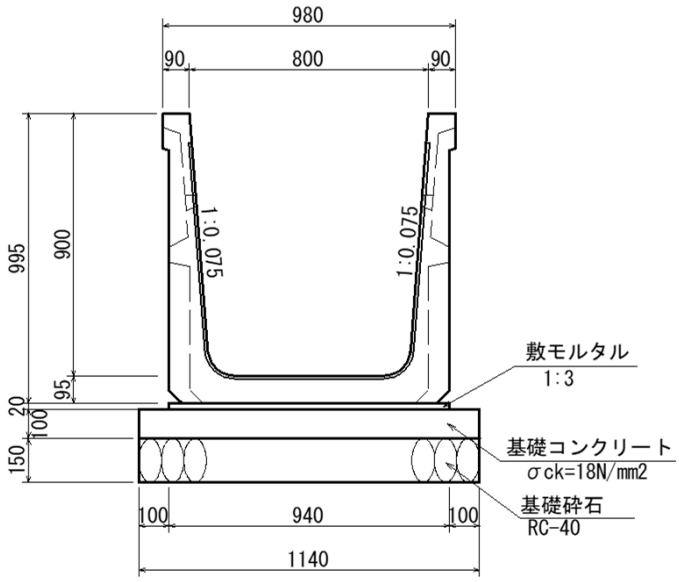
構造物取壊し工(4)　　計 算 書

(　　)

測 点	距 離	石積取り壊し(CSt)右内			石積取り壊し(CSt)右外									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
		0.6												
SECT.0.0	0.3	0.6	0.60	0.2										
SECT.0.41	0.4	1.5	1.05	0.4										
SECT.5.0	4.6	1.1	1.30	6.0										
SECT.10.0	5.0	1.2	1.15	5.8										
SECT.13.0	3.0	0.9	1.05	3.2										
SECT.15.0	2.0	0.8	0.85	1.7										
SECT.17.5	2.5	0.7	0.75	1.9										
SECT.20.0	2.5	0.9	0.80	2.0										
SECT.25.0	5.0	0.8	0.85	4.3										
SECT.30.0	5.0	1.1	0.95	4.8										
SECT.35.0	5.0	1.3	1.20	6.0										
SECT.40.0	5.0	0.4	0.85	4.3										
SECT.43.6	3.6	0.0	0.20	0.7										
	0.0	0.0	0.00	0.0										
	4.9	1.2	0.60	2.9										
SECT.50.0	1.9	1.2	1.20	2.3										
SECT.53.0	3.0	0.7	0.95	2.9										

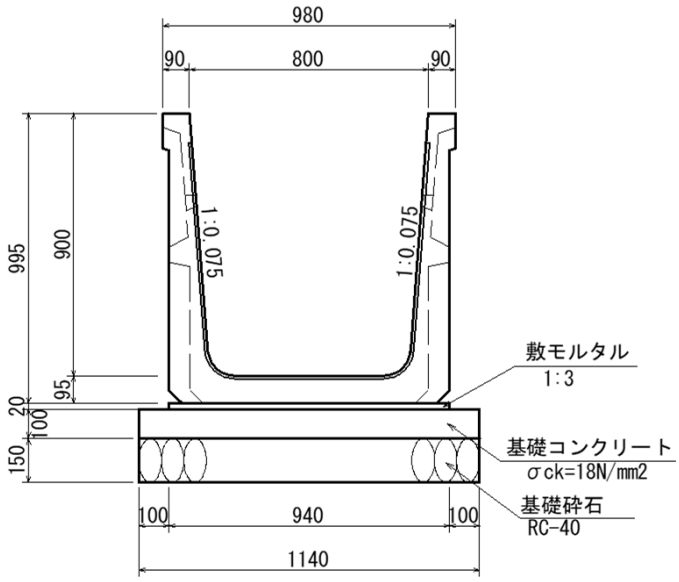
測　点	距　離	石積取り壊し(CSt)右内			石積取り壊し(CSt)右外									摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
SECT.55.0	1.0	0.5	0.60	0.6										
SECT.60.0	5.0	0.6	0.55	2.8										
	6.3	0.6	0.60	3.8										
	0.0	0.5												
SECT.70.0	2.4	0.5	0.50	1.2										
	1.8	0.7	0.60	1.1										
	0.0				0.1									
SECT.25.0	3.1				0.7	0.40	1.2							
	1.1				0.7	0.70	0.8							
SECT.30.0	3.6				0.0	0.35	1.3							
小　計	78.0			m2 58.9			m2 3.3							
合　計	118.4			m2 93.4			m2 4.4							
内 外 合 計							m2 97.8							

計第　－　表	水路工-B800-H900(L=2.0m)	10m当り



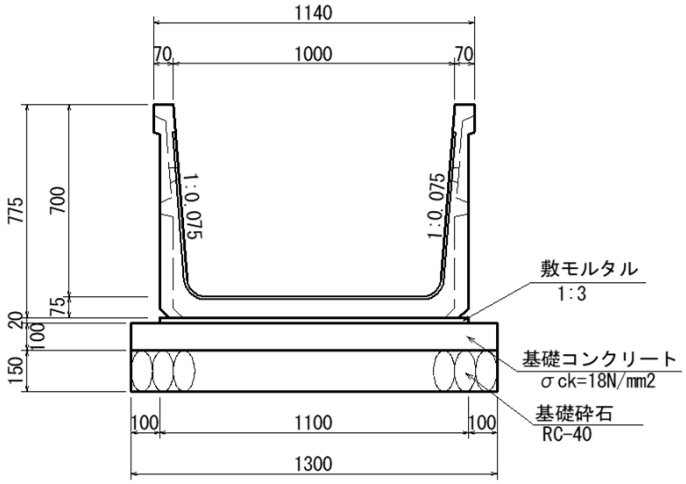
種 別	規 格	計　算　式	数 量	
大型フリューム	B800-H900 (L=2.0)	10.00÷2.00	5.0	個
敷モルタル	1:3	0.94×0.02×10.00	0.188	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.14×0.10×10.00	1.140	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×10.00	2.000	m2
基礎砕石	RC-40	1.14×10.00	11.400	m2

計第　－　表	水路工-B800-H900(L=1.0m)	10m当り



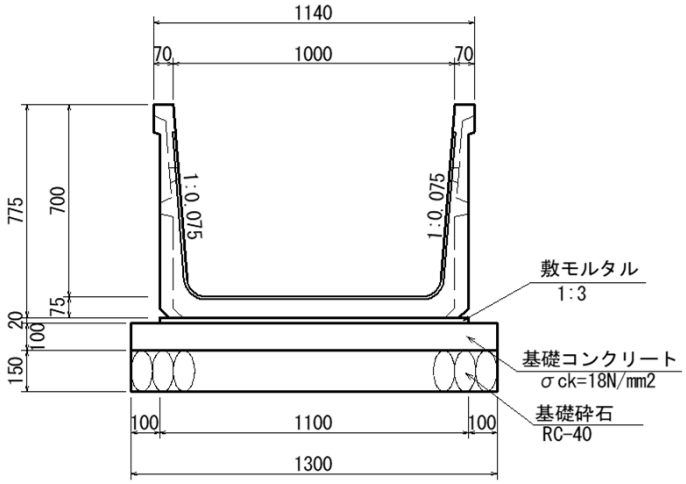
種 別	規 格	計　算　式	数 量	
大型フリューム側溝	B800-H900 (L=2.0)	10.00÷1.00	10.0	個
敷モルタル	1:3	0.94×0.02×10.00	0.188	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.14×0.10×10.00	1.140	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×10.00	2.000	m2
基礎砕石	RC-40	1.14×10.00	11.400	m2

計第　－　表	水路工-B1000-H700(L=2.0m)	10m当り



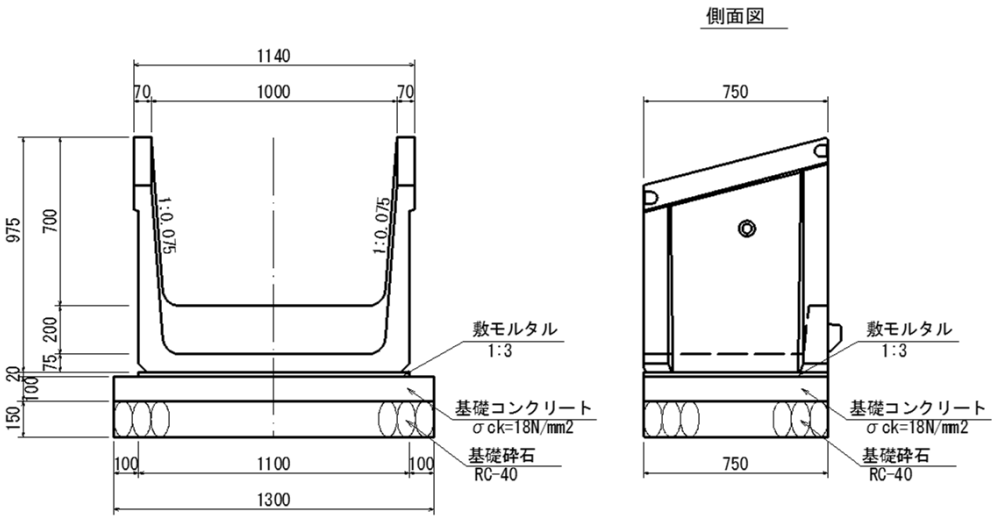
種 別	規 格	計　算　式	数 量	
大型フリューム	B1000-H700 (L=2.0)	10.00÷2.00	5.0	個
敷モルタル	1:3	1.10×0.02×10.00	0.220	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.30×0.10×10.00	1.300	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×10.00	2.000	m2
基礎砕石	RC-40	1.30×10.00	13.000	m2

計第　－　表	水路工-B1000-H700(L=1.0m)	10m当り



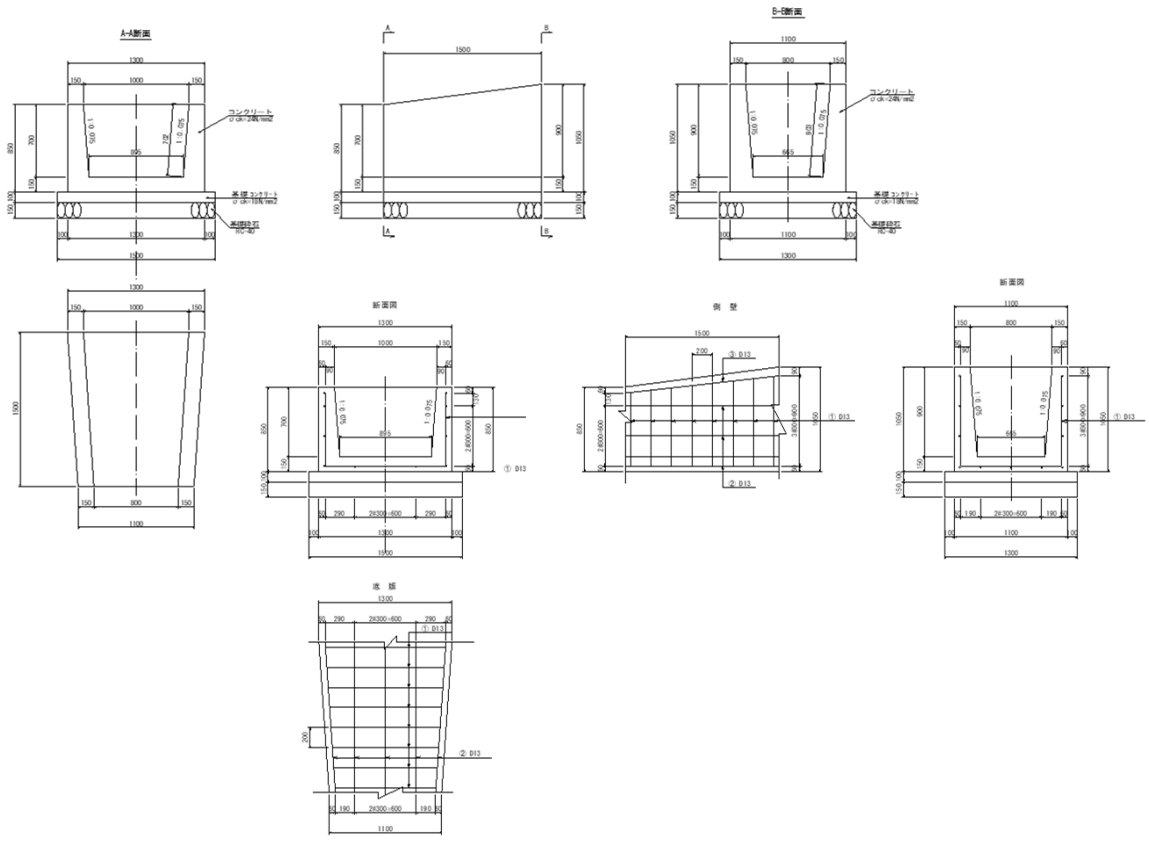
種 別	規 格	計　算　式	数 量	
大型フリューム	B1000-H700 (L=2.0)	10.00÷2.00	10.0	個
敷モルタル	1:3	1.10×0.02×10.00	0.220	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.30×0.10×10.00	1.300	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×10.00	2.000	m2
基礎砕石	RC-40	1.30×10.00	13.000	m2

計第　－　表	大型フリューム落差工-B1000-H700	10m当り



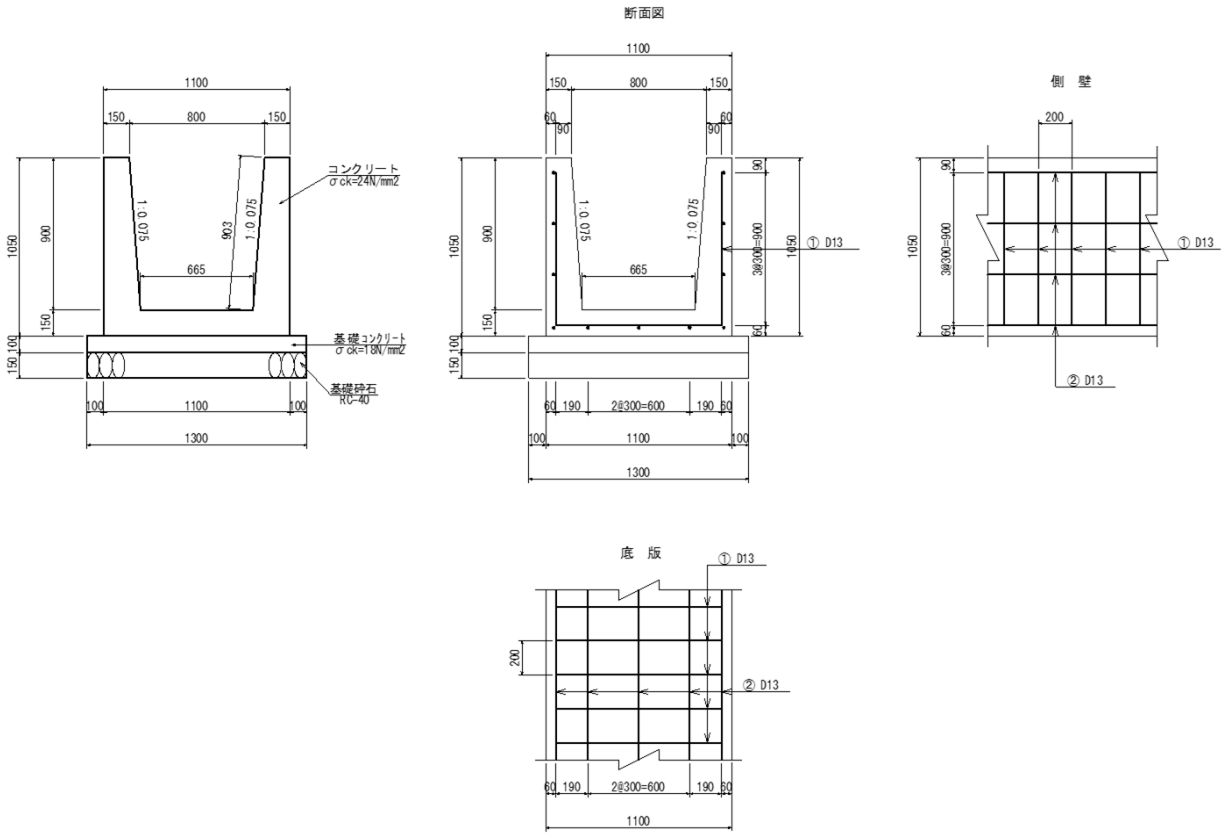
種 別	規 格	計　　算　　式	数 量	
落 差 工	B1000-H700 (L=0.75)	10.00÷0.75	13.3	個
敷モルタル	1:3	1.10×0.02×10.00	0.220	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.30×0.10×10.00	1.300	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×10.00	2.000	m2
基礎砕石	RC-40	1.30×10.00	13.000	m2

計第　－　表	現場打水路(B1000～B800)すり付け	1.5m当り



種 別	規 格	計　　算　　式	数 量	
コンクリート	σck=24N/mm2	(((0.15 + 0.2025)×1/2×0.70×2 + 1.3×0.15) +		
		((0.15 + 0.2175)×1/2×0.90×2 + 1.1×0.15))×1/2×1.5	0.703	m3
型枠	鉄筋構造物	((0.85×2 + 0.702×2) + (1.05×2 + 0.903×2))×1/2×1.5	5.258	m2
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	(1.50 + 1.30)×1/2×0.10×1.5	0.210	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×1.5	0.300	m2
基礎砕石	RC-40	(1.50 + 1.30)×1/2×1.5	2.100	m2
鉄筋	D13 SD345	2.71×8×0.995 + 1.5×9×0.995 + 1.51×2×0.995	38.01	kg

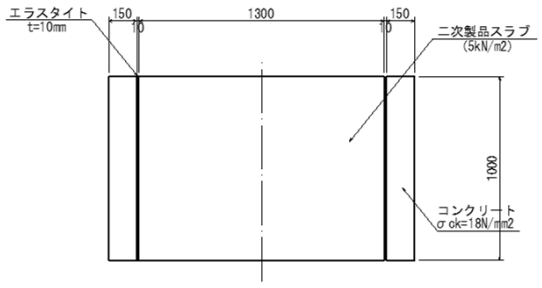
計第　－　表	現場打水路-B800-H900	1m当り



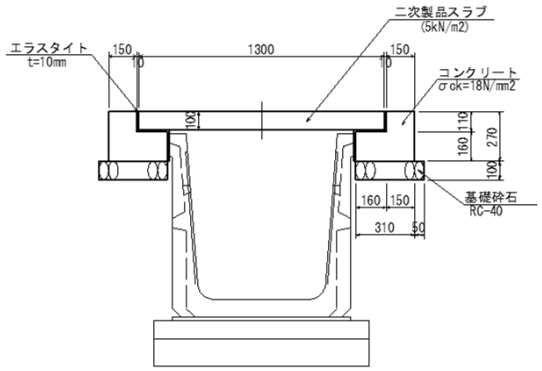
種　別	規　格	計　　算　　式	数　量	
コンクリート	σck=24N/mm2	((0.15 + 0.2175)×1/2×0.90×2 + 1.1×0.15)×1.0	0.496	m3
型枠	鉄筋構造物	(1.05×2 + 0.903×2)×1.0	3.906	m2
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.30×0.10×1.0	0.130	m3
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠		0.10×2×1.0	0.200	m2
基礎砕石	RC-40	1.30×1.0	1.300	m2
鉄筋	D13 SD345	2.78×5×0.995 + 1.0×11×0.995	24.78	kg

計第　－　表	床 版 工	1箇所当り

平面図



正面図



種 別	規 格	計　　算　　式	数 量	
二次製品スラブ	B1300-H1000			
	(5kN/m2)		1	枚
コンクリート	σck=18N/mm2	(0.31×0.16+0.15×0.11)×2×1.0	0.132	m3
型枠		0.27×4×2×1.0	2.160	m2
基礎砕石	RC-40	0.36×2×1.0	0.720	m2
エラスタイト	t=10mm	0.425×2×1.0	0.850	m2

仮設工

（　　）

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
締切排水工				
	ポンプ設置・撤去		ヶ所	
仮締切工		L.W.L=		
	大型土のう		1　袋	
濁水処理工				
	大型土のう		袋	
掛樋工				
	Φ300		74.0　m	
		必要高(L.W.L+0.3m)×延長÷土のう1個当たりの面積(1.08×1.10)		